



REPOS活用ガイド

令和8年3月



- 本資料（REPOS活用ガイド）は、初めてREPOSに触れる方がスムーズに活用いただけるよう、REPOSの主要機能と利用方法を簡潔に説明した紹介資料です。
- 詳細な利用方法については、[利用解説書](#)をご参照ください。

	再生可能エネルギー情報提供システム REPOSのご紹介	4
REPOSの機能概要	1. REPOS機能の全体像	6
	2. 主要機能概要	7
	3. その他ツール(分析ツール・データ)	10
	4. 搭載地図情報一覧	12
地域脱炭素の実現に向けた検討におけるREPOSの活用方法	5. 地域脱炭素の実現に向けたREPOSの支援	14
	6. 再エネ導入ポテンシャルの把握	18
	7. 再エネ導入目標の設定	23
	8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討	32
	9. ユーザー登録機能	38
活用例紹介	10. 計画策定業務における活用事例	40
	11. REPOSを活用した再エネ導入方針の検討例	43
補足情報	12. サイトマップ	46

再生可能エネルギー情報提供システム REPOSのご紹介

再生可能エネルギー情報提供システムのご紹介

「Renewable Energy Potential System 通称：REPOS（リーポス）」



REPOSとは

サイトリンク：<https://repos.env.go.jp/web/>

再生可能エネルギー情報提供システム（REPOS）は、**再エネ関連情報の提供により、再生可能エネルギーの導入促進検討支援**を行うポータルサイトです

地方公共団体実行計画の検討の流れ

現状把握

CO2排出量、再エネ導入ポテンシャル等の現状数値の把握



地域にどれだけ再エネを導入できるか知りたい

目標設定

省エネ・再エネ導入目標の設定



目標設定にあたって、電力需要量や再エネ導入可能区域を把握したい

施策策定

再エネ導入計画の策定と合意形成



自然保護区域等、地域情報を確認しながら促進区域を検討したい

地域脱炭素の実現に向けた検討にあたり、再エネポテンシャルの把握や再エネ導入目標設定、計画策定、促進区域の検討をREPOSが支援します

リニューアルによるREPOSの改良点

- 地域脱炭素化支援ツールを拡充し、再エネ導入目標や促進区域をREPOSのサイト上で検討できるようになりました
- 自然保護区域等の除外区域を確認しながら、再エネ導入促進区域を検討することができます
- 地域固有情報の投稿機能により、自治体の固有情報をREPOSにアップロードし、REPOSの情報と組み合わせた分析・検討を実現できます

再エネ導入ポテンシャルメニュー



特定の情報レイヤーを選択可能

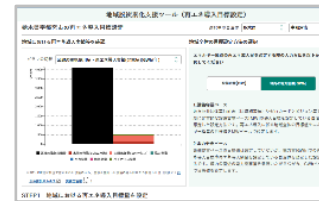
- 太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスの7種類の再エネ種別ごとに、再エネポテンシャルの数値および地図上で導入可能性の高い区域を確認できます

入力した自治体における説明対象のポテンシャルが高い区域を地図上で表示

地域脱炭素化支援ツール

- 地域脱炭素化支援ツールを使い、再エネ種別ごとの目標値や促進区域の検討を、電力需要やポテンシャル情報・除外区域等を把握しながら検討できます

再エネ導入目標設定



電力需要量、CO2削減量等を把握しながら、再エネ導入目標を検討

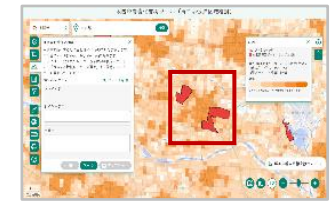
再エネ促進区域検討

促進区域検討



再エネポテンシャルと除外条件を参照し、再エネ導入の促進区域を検討

地域固有情報の投稿



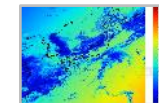
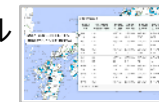
自治体や事業者が所有するGIS情報を投稿し、既存ポテンシャル情報と重ね合わせた区域で、ポテンシャルがある除外区域等を把握
※ログイン時のみ利用可能

両機能の画面を切替え、目標値・促進区域の両者を確認しながら検討ができます

その他機能（分析ツール・データ）

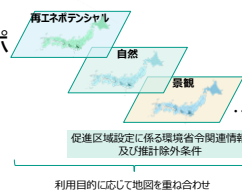
分析ツール

- 中小水力分析データ・ツール
- 時空間ポテンシャルデータ
- 航空画像・衛星画像を基にしたAI分析による太陽光の導入状況



データ

- 搭載データ（地図）
搭載されている再エネポテンシャルと促進区域関連情報を地図上で重ね合わせて確認
- 搭載データ
- 過年度報告書



REPOSの機能概要

1. REPOS機能の全体像

- REPOSでは、地域脱炭素計画の策定にあたって必要な再エネ導入ポテンシャルメニュー、および再エネ導入の目標設定・促進区域検討支援ツール等を提供しています。

REPOSトップページ



再エネ導入ポテンシャルメニュー

太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスの7種類の再エネ種別ごとに、再エネ導入ポテンシャルの数値および地図上で導入可能性の高い区域を確認することができます。

地域脱炭素化支援ツール

以下3つの機能を使い、再エネ種別ごとの目標値や促進区域の検討を、電力需要や再エネ導入ポテンシャル情報・除外区域等を把握しながら検討することができます。

1 再エネ導入目標設定

電力需要量、CO2削減量等を把握しながら、再エネ導入目標を検討できます。

2 再エネ促進区域検討

再エネポテンシャルと除外条件を参照し、再エネ導入の促進区域を検討できます。

3 地域固有情報の投稿

自治体や事業者が所有するGIS情報をREPOSに投稿できます。※ログイン時のみ利用可能

その他機能（データ・分析ツール）

ヘッダーメニュー「データ> 搭載データ（地図）」からは、REPOSに搭載されている再エネ導入ポテンシャル・除外区域等の情報を地図上で重ね合わせて確認することができます。

2. 主要機能概要

再エネ導入ポテンシャルメニュー



- 太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスの7種類の再エネ種別に対して、表示項目による(※)再エネポテンシャルが高い区域を把握できます。

☀️ 太陽光

入力した自治体における
太陽光（建物系・土地系）のポテンシャルが
高い区域を地図上で表示



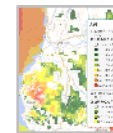
特定の建物区分や
農地・ため池等の
対象を選択可能

対象：
建物系、土地系
表示項目
設備容量 (0~10,000~kW/km²)



風力

対象：陸上風力、洋上風力
表示項目：
風速 (陸上：5.5m/s~、洋上：6.5m/s~)



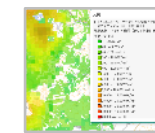
中小水力

対象：河川部、農業用水路
表示項目：
設備容量 (100~10,000~kW)



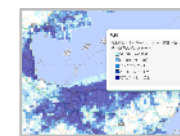
地熱

対象：蒸気フラッシュ、バイナリー、低温バイナリー
表示項目：
設備容量 (0~40,000~kW/km²)



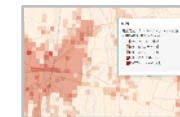
地中熱

表示項目：
利用可能熱量
(5~50~TJ/年・km²)



太陽熱

表示項目：
利用可能熱量
(10~100~TJ/年・km²)



木質バイオマス

表示項目：
発生量 (森林由来分) (0~1,500~m³/km²・年)
発熱量 (発生量ベース) (0~9,000~GJ/km²・年)



※本サイトでは、設置可能面積、平均風速、河川流量等から理論的に算出することができるエネルギー資源量（賦存量）のうち、土地利用に関する制約要因による設置の可否を機械的に考慮したエネルギー資源量（推計値①）を再エネ導入ポテンシャルとして提示しています。

2. 主要機能概要

地域脱炭素化支援ツール

1 再エネ導入目標設定

2 再エネ促進区域検討



- 本ツールを用い、自治体の再エネ導入目標および促進区域を検討することができます。両機能の画面を切替えることで、目標値・促進区域の両者を確認しながら検討することが可能です。

1 再エネ導入目標設定

該当自治体の再エネ導入ポテンシャルや区域内の電力需要量を確認しながら、排出係数と再エネ導入目標値を検討した上で、目標設備容量との差分を確認できます。

地域脱炭素化支援ツール (再エネ導入目標設定)

再エネ導入目標設定

地域における再エネ導入実績等を確認

グラフの切替 区域の電気使用量・再エネ導入実績(発電量)(GWh/年)

地域全体の目標設定方法の選択

エネルギー種別の再エネ導入量を設定する際の入力方法を以下から選択してください

設備容量[MW] 域内の電力需要[GWh]

1.設備容量ベース
地方公共団体実行計画（区域施策）やゼロカーボンビジョン等で、既に定量的な設備容量ベース[MW]の導入目標を設定している自治体を想定した設定方法です。再エネ導入に係る地域全体の目標値やエネルギー種別の目標値をMWベースで設定します。

2.電力需要ベース
設備容量ベースの目標値は設定していないが、電力需[GWh]での再エネ導入目標や再エネ導入割合を設定している自治体を想定した設定方法です。域内の直近の電力需要量を参照いただきながら、GWhベースで目標値を設定します。

STEP1 地域における再エネ導入目標量を設定

排出係数の設定

再エネ電源の導入により代替される系統電力の排出係数を設定してください

電気事業者を選択した場合は、「電気事業者別排出係数一覧」で公表されている「基礎排出係数」の「メニュー（廃棄）」の値が、排出係数として自動的に入力されます

※数値の詳細につきましては、「電気事業者別排出係数一覧」でご確認ください

自治体が独自に排出係数を設定している場合は、「任意入力」を選択の上、0~0.00100の範囲で入力をしてください

再エネ促進区域を設定する > 検討内容をダウンロード 初期化

2 再エネ促進区域検討

再エネ導入ポテンシャルや導入時に除外・考慮すべき区域情報・環境情報を地図で重ね合わせながら、設定した目標値を参照し、促進区域を検討できます。

地域脱炭素化支援ツール (再エネ促進区域検討)

促進区域設定 (ズームレベル10~)

促進区域 (緑地) として検討したい区域を入力します。 ※KMLは保存のみ対応しています。 読み込みは対応していません。

保存形式: JSON, KML, Shape

地図形式: フリーフォーム, 都市計画用途地域

モード選択: 区域設定, 区域一覧, 区域一括削除

補正係数・補正值設定

補正係数・補正值設定

促進区域に設定 削除

	導入ポテンシャル (KW)	推計発電電力量 (KWh/年)
公共庁	2,970	3,562,4
病院	2,710	3,268,
学校	10,286	12,407,4
戸建住宅	273,101	334,535,3

再エネ導入目標を設定する >

2. 主要機能概要

地域脱炭素化支援ツール

3 地域固有情報の投稿



- 自治体や事業者が所有する地域固有のGIS情報をREPOSに投稿することで、再エネ導入ポテンシャル情報等と重ね合わせて、各区域への再エネ導入の可能性を検討することができます。

※本機能はログイン時のみ利用可能

3 地域固有情報の投稿

地域脱炭素化支援ツール（再エネ促進区域検討）

投稿した情報は地図上で確認可能

既存ポテンシャル情報と投稿した情報を重ね合わせた区域で、除外区域を除いたポテンシャルを有する区域等を把握可能

※本機能で投稿した情報は一般には公開されず、投稿した自治体のみが閲覧・利用可能となります

3. その他ツール(分析ツール・データ)

- 前述の主要機能以外にも、REPOSでは「中小水力分析データ・ツール」・「時空間ポテンシャルデータ」等の分析ツールや情報を提供しています。
- 搭載データメニューでは、REPOSに搭載されているデータを一覧で確認することができます。

分析ツール

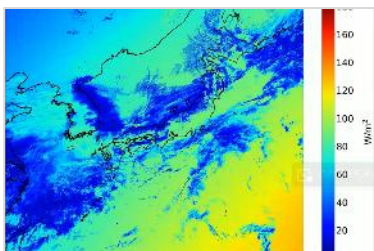
■ 中小水力分析データ・ツール



中小水力分析データ
FIP制度下での中小水力発電収入分析情報を確認することができます。

中小水力分析ツール
地図上で中小水力発電の事業化に関する検討ができます。

■ 時空間ポテンシャルデータ



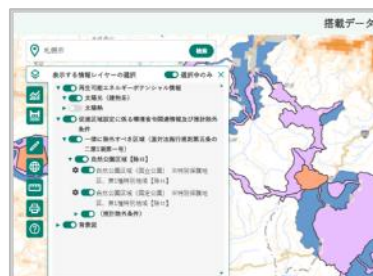
太陽光発電と風力発電の導入ポテンシャルの年間を通じた変動（30分間隔）を地図上で動画で確認することができます。

■ 航空画像・衛星画像を基にしたAI分析による太陽光の導入状況

既設PV（太陽光発電）の導入量、PV未設置の建物における導入ポテンシャルを掲載しています。

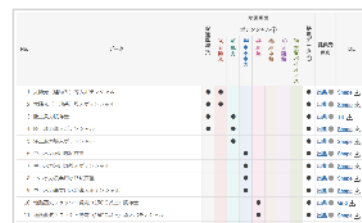
データ

■ 搭載データ（地図）



ゾーニングに関連する一般的な地図情報（自然、景観、文化財など）やポテンシャル情報を重ね合わせて利用することができます。
※次ページ参照

■ 搭載データ



REPOS搭載のGIS情報を一覧化しています。搭載情報を俯瞰的に把握する場合や、GIS情報(shape)を入手したい場合に利用できます。また、特定の自治体での再エネ種別の導入ポテンシャル量などを整理した自治体再エネ情報カルテも確認できます。

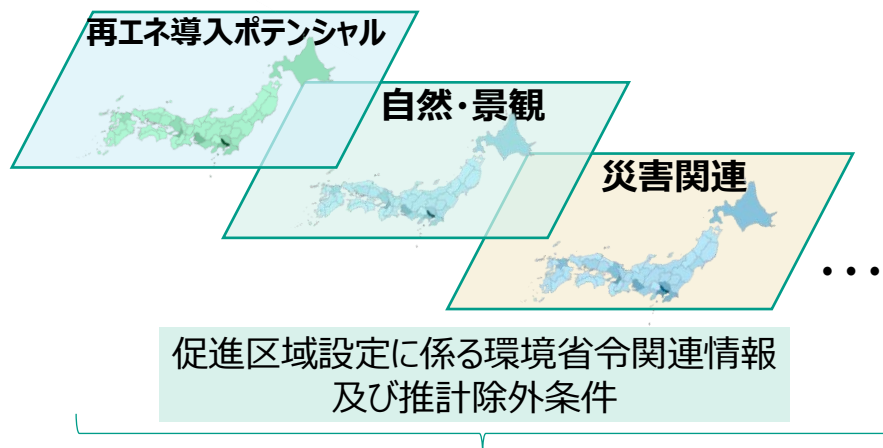
■ 過年度報告書

過年度報告書に、推計方法の詳細等を記載しています。

【参考】データ：搭載データ（地図）

- REPOSの搭載データ（地図）画面では、再エネ導入ポテンシャルと、自然・景観情報や災害関連情報等の地図情報を重ね合わせて確認することができます。

地図の重ね合わせイメージ



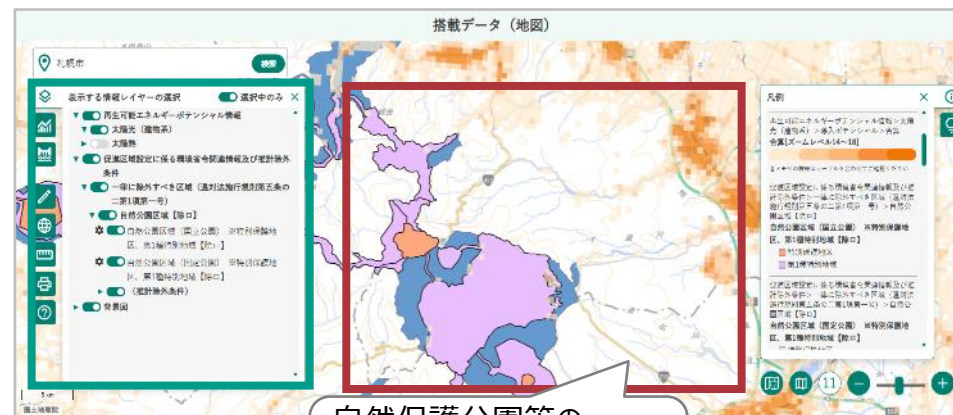
利用目的に応じて地図を重ね合わせ

【重ね合わせが可能なレイヤーの（例）】

- 再エネ導入ポテンシャル：**
太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスの7種類
- 自然・景観情報：**
自然公園区域、鳥獣保護区、生息地等保護区 等
- 災害関連情報：**
土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、浸水想定区域 等
※詳細は次ページの搭載地図情報一覧をご参照ください。

搭載データ（地図）画面

太陽光（建物系）ポテンシャルと自然公園区域を重ねて表示した場合



自然保護公園等の再エネ導入不可の区域が地図上で判別できます

表示したい情報レイヤーを選択（ の状態）すると重ね合わせて表示される

4. 搭載地図情報一覧



■ 再生可能エネルギーや促進区域検討に係る地図情報を豊富に収録しています。

再生可能エネルギー

導入ポテンシャル情報	自治体別集計情報	資源量に関する基礎情報	電力系統情報	需要地情報	再生可能エネルギー発電所情報				
<ul style="list-style-type: none"> 太陽光（建物系/土地系） 風力（陸上/洋上） 中小水力（河川部/農業用水路） 地熱（蒸気フラッシュ/バイナリー/低温バイナリー） 地中熱 太陽熱 木質バイオマス 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県別 市町村及び特別区別 	<ul style="list-style-type: none"> 風況マップ 遊休農地 地下温度構造 	<ul style="list-style-type: none"> 原子力発電所 火力発電所 水力発電所 その他発電所 変電所 開閉所 変換所 送電線 	<ul style="list-style-type: none"> 学校 病院、診療所 福祉施設 図書館 建築物 熱需要量 熱需要マップ 採熱率マップ 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発電所</th> <th>事業計画認定情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 太陽電池発電所 風力発電所 地熱発電所 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電（2,000kW未満） 太陽光発電（2,000kW以上） 風力発電 水力発電 地熱発電 バイオマス発電 </td> </tr> </tbody> </table>	発電所	事業計画認定情報	<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池発電所 風力発電所 地熱発電所 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電（2,000kW未満） 太陽光発電（2,000kW以上） 風力発電 水力発電 地熱発電 バイオマス発電
発電所	事業計画認定情報								
<ul style="list-style-type: none"> 太陽電池発電所 風力発電所 地熱発電所 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電（2,000kW未満） 太陽光発電（2,000kW以上） 風力発電 水力発電 地熱発電 バイオマス発電 								
<h3>ポテンシャル推計基礎情報</h3>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>太陽光</th> <th>太陽熱</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 建物区分 農地 ため池 地域別発電量係数 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域別日射量情報 </td> </tr> </tbody> </table>	太陽光	太陽熱	<ul style="list-style-type: none"> 建物区分 農地 ため池 地域別発電量係数 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別日射量情報 				
太陽光	太陽熱								
<ul style="list-style-type: none"> 建物区分 農地 ため池 地域別発電量係数 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別日射量情報 								

促進区域設定に係る環境省令関連情報及び推計除外条件※

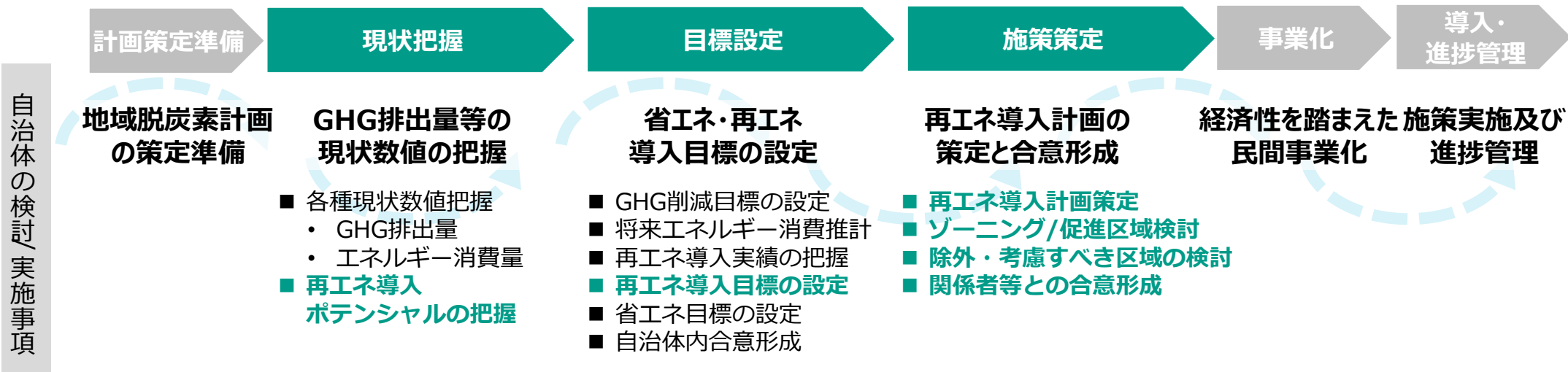
一律に除外すべき区域 (温対法施行規則第五条の二第1項第一号)	その他の留意が必要な施設・エリア等 (温対法施行規則第五条の二第1項第三号 他)	その他情報			
<ul style="list-style-type: none"> 原生自然環境保全地域【除イ】 自然環境保全地域（国指定）【除イ】 自然公園区域【除ロ】 鳥獣保護区【除ハ】 生息地等保護区【除二】 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全地域（都道府県指定） 自然公園区域 鳥獣保護区 世界自然遺産 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（文化財等/景観地区等/土地利用） 地形及び地質の状況 景観及び人と自然とのふれあいの活動の場の状況 土地利用 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況 土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域 土砂災害危険箇所 	<ul style="list-style-type: none"> 経緯線 道路 行政区域 			
<h3>考慮が必要な区域 (温対法施行規則第五条の二第1項第二号)</h3> <ul style="list-style-type: none"> 自然公園区域【考イ】 生息地等保護区【考ロ】 砂防指定地【考ハ】 地すべり防止区域【考ニ】 急傾斜地崩壊危険区域【考ホ】 保安林【考ヘ】 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域（洪水/津波） 山地災害危険地区（国有林/民有林/民有林直轄事業区域） 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>配慮施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>航空・防衛関連情報</td> </tr> <tr> <td>中小水力関連情報</td> </tr> </tbody> </table>	配慮施設	航空・防衛関連情報	中小水力関連情報
配慮施設					
航空・防衛関連情報					
中小水力関連情報					

※推計除外条件：再エネ導入ポテンシャルを推計する際に考慮する、一部の除外条件を指します。その他の除外条件などは搭載データにて確認可能です。

地域脱炭素の実現に向けた検討における REPOSの活用方法

5. 地域脱炭素の実現に向けたREPOSの支援

- 地域脱炭素の実現に向けた検討にあたり、再エネ導入ポテンシャルの把握や再エネ導入目標設定、計画策定、促進区域の検討をREPOSが支援します。



- 区域施策編を立案するにあたって、再エネの導入可能性を知りたい
- 需要量や地域の再エネ導入可能性のある区域等の情報を把握した上で、目標設定をしたい
- 自然保護区等の再エネ設備の導入に適さない区域を把握した上で促進区域を選定したい

.....▶ **再エネ導入ポテンシャルメニュー**

.....▶ **地域脱炭素化支援ツール**

1 再エネ導入目標設定

.....▶ **地域脱炭素化支援ツール**

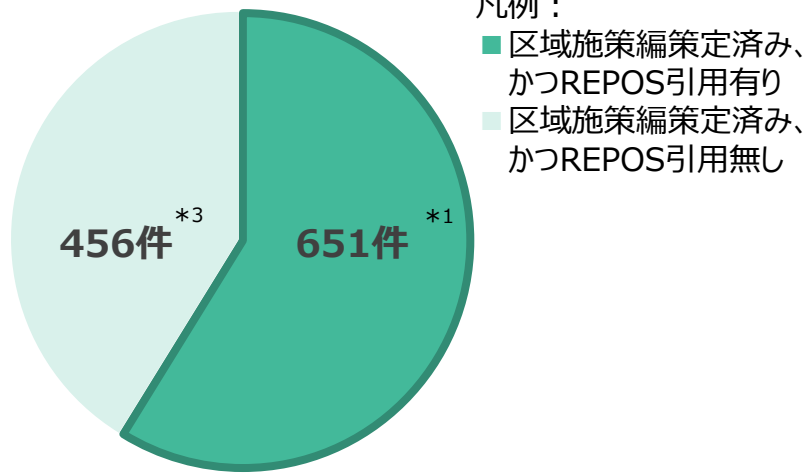
2 再エネ促進区域検討

【参考】REPOSの活用状況

- 全国の半数以上の自治体が、地域脱炭素に向けた検討をする中でREPOSを活用しています。
- 再エネ導入の初期検討や区域施策編などの計画策定、関係者とのコミュニケーションなど、様々な場面でご利用いただけます。

計画策定におけるREPOSの活用実績（令和7年）

令和7年度までに区域施策編を策定済みの1,107自治体^{*2}のうち、651自治体（約59%）がREPOSを引用しています。



*1：令和6年度・令和7年度の「再生可能エネルギー資源発掘・創生のための情報提供システム整備事業」における、自治体HPの全数調査による集計結果。事務事業編においてREPOSを引用した自治体数も含む
*2：令和6年度「地球温暖化対策の推進に関する法律施行状況調査」^{*3}で「区域施策編を策定済み」と回答した自治体数が941件、令和7年度の調査の結果、区域施策編のドキュメントが自治体HPで確認できた自治体数が166件であったため、区域施策編を策定済みの自治体数を合計1107件とした
*3：区域施策編を策定済みの自治体数1107件から、REPOSの引用実績^{*1}が確認できた自治体数651件を差し引き、456件を「区域施策編を策定済だがREPOSの引用無し」とした
尚、上記調査の出典は以下の通り
*4：環境省 地方公共団体実行計画策定・取組状況（2026/02/27参照）
https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/sakutei.html

REPOSの活用場面（例）



自治体内での初期検討

- 再エネ種別ごとの再エネ導入ポテンシャル量の把握
- 再エネ導入可能性が高いエリアの把握



区域施策編での引用

- 再エネ導入ポテンシャルの現状を区域施策編等の計画に掲載
 - ✓ 再エネ導入ポテンシャル数値の活用
 - ✓ 再エネ種別ごとの導入ポテンシャル地図の活用
- GHG削減目標を達成する上で必要となる再エネ導入目標を試算
 - ✓ 再エネ導入ポテンシャル数値をもとに導入目標を試算
 - ✓ ツールで再エネ導入目標によるCO2の削減目標量を試算



住民・事業者とのコミュニケーション

- 住民への再エネ導入の理解促進に向けて、市内の再エネ導入ポテンシャル情報を掲示
- 住民・事業者との具体的な再エネ導入施策の協議時に、REPOSの除外すべきエリアの情報を活用する 等

【参考】地方公共団体実行計画策定における主なツール

- 環境省では地方公共団体実行計画（区域施策編、地域脱炭素化促進事業編）をはじめとする、脱炭素関連の計画の策定～実行に向け、多くの情報を提供しております。
- REPOSは主に再エネ導入に関する情報を提供しており、自治体排出量カルテ等の他の情報と組み合わせることで、多角的な観点から検討を進めることができます。

	区域施策編	地域脱炭素化促進事業編
概要	地球温暖化対策計画に即して、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出量削減等を推進するための総合計画であり、計画期間に達成すべき目標を設定し、その目標を達成するために実施する措置の内容を定めるとともに、排出量削減等を行うための施策に関する事項として、再エネの導入、省エネの促進、廃棄物等の発生抑制等循環型社会の形成等について定めるもの	地球温暖化対策の推進に関する法改正において、区域施策編に施策の実施に関する目標を追加するとともに、市町村は、地域の再エネを活用した脱炭素化を促進する事業に係る促進区域や環境配慮、地域貢献に関する方針等を定めるもの
マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（簡易版/ひな形/詳細版/算定手法編） 地域主導の再エネ・地域脱炭素に関する取組事例集 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル（地域脱炭素化促進事業編） 地域脱炭素のための促進区域検討等に向けたハンドブック
ツール・参考資料	<p>部門別CO2排出量の現況推計</p> <ul style="list-style-type: none"> 「標準的手法」（全国や都道府県の炭素排出量を部門別活動量で按分する方法）による全市区町村の部門別CO2排出量の現況推計値データ <p>自治体排出量カルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出要因分析に活用可能な現況推計の分析データ、特定事業所の排出量データ、再エネ導入量、再エネポテンシャル等の各種データが把握可能なツール <p>運輸部門（自動車）CO2排出量推計データ</p> <p>地域経済循環分析</p> <p>排出係数</p> <p>地球温暖化対策計画書制度ガイドライン（令和5年）</p>	<p>REPOS</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国・地域別の再エネ導入ポテンシャル情報等を、データと地図で可視化したウェブサイトであり、再エネ導入ポテンシャルに加え、再エネ導入に関連するエネルギー情報や環境情報も併せて提供 地域脱炭素化支援ツール（再エネ目標設定、再エネ促進区域検討）、自治体再エネ情報カルテなどの機能も提供 <p>EADAS</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境アセスメントにおいて地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境に関する情報を一元的に収録、提供することを目的に運用 <p>地域脱炭素化促進事業に対する優遇措置について</p> <p>地域脱炭素化促進事業制度による認定事業のうち、太陽光施設に関する税制優遇措置（固定資産税減免）</p>

地域脱炭素の実現に向けた検討における REPOSの活用方法

本章では、地方公共団体実行計画（区域施策編、地域脱炭素化促進事業編）の作成時など、地域脱炭素の実現に向けた検討におけるREPOSの活用方法を紹介します。

現状把握

- 再エネ導入ポテンシャルの把握

目標設定

- 再エネ導入目標の設定

施策策定

- 再エネ導入計画策定
- ゾーニング/促進区域検討
- 除外・考慮すべき区域の検討
- 関係者等との合意形成

6. 再エネ導入ポテンシャルの把握

- 再エネ導入目標や再エネ導入に向けた施策を検討する際に、地域における再エネ導入ポテンシャルを、REPOSを用いて把握することができます。



自治体内での再エネ導入に向けた検討

- 区域施策編を策定するにあたって、**どれだけ再エネを導入できるかを知りたい**
- 区域内で特に強みとなる再エネ種別やそのポテンシャル量について把握したい
- 計画を策定している他自治体の再エネポテンシャルと比較したい



地方公共団体実行計画等への検討結果の反映

区域施策編の現状把握の章で地域の再エネ関連の状況を説明

地方公共団体
実行計画

区域施策編

地域脱炭素化
促進事業編

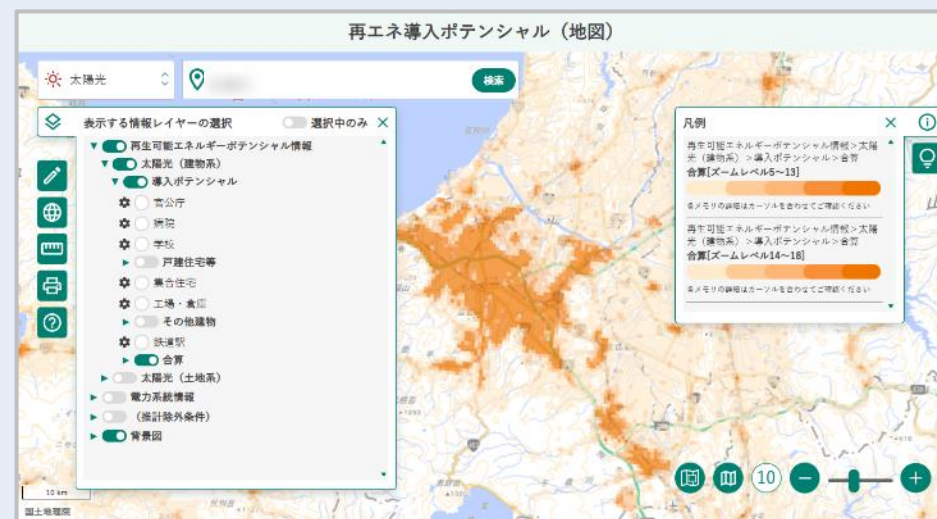
目次

1. 区域施策編策定の基本的事項・背景・意義
2. 温室効果ガス排出量の推計・要因分析
3. 計画全体の目標
4. 温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策
 - (1) 区域の各部門・分野での対策とそれのための施策
 - ア 再生可能エネルギーの導入促進
 - 1) 再生可能エネルギー導入目標の設定の基本的な考え方
 - 2) 再エネ導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握
5. 区域施策編の実施及び進捗管理

目次の例

REPOSを活用した再エネ導入ポテンシャルの把握

- REPOSで地域の再エネ導入ポテンシャル分布及び数値を把握



自治体の現状を把握する際に活用できるREPOSの機能

再エネ導入
ポテンシャルメニュー

自治体再エネ情報カルテ

推計値

地図

6. 再エネ導入ポテンシャルの把握

【活用イメージ】区域施策編等の計画における現状把握への掲載



- 地方公共団体実行計画の区域施策編、地域脱炭素化促進事業編において、地域の再エネ導入ポテンシャルの現状等を説明される際に、REPOSの画面を掲載いただくことが可能です。

地域の再エネ導入ポテンシャルに関する説明のイメージ（区域施策編等の計画での掲載を想定）

掲載イメージ

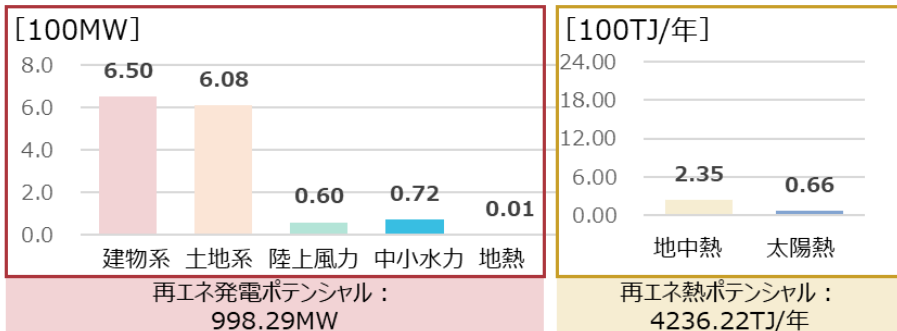
掲載イメージ

4 温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

(1) 再エネ導入ポテンシャルの現状

- ・ A市では太陽光（建物系・土地系）のポテンシャルが高い。
- ・ 一部地域では、陸上風力のポテンシャルも確認できる。

A市における再エネ導入ポテンシャル



A市における太陽光（建物系）導入ポテンシャル

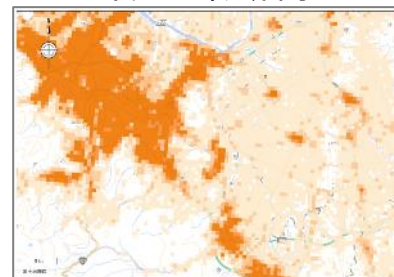
区分	導入ポテンシャル (MW)
官公庁	10.432
病院	6.791
学校	15.859
戸建住宅等	213.941
集合住宅	5.468
工場・倉庫	10.619
その他建物	386.348
鉄道駅	0.138
合計	649.596

- ・ A市西部の商業エリアは太陽光（建物系）のポテンシャルが高い。
- ・ 一方、西部の山間部では風況が良好であり、陸上風力の再エネポテンシャルを一部有している。

A市における再エネ導入ポテンシャルマップ

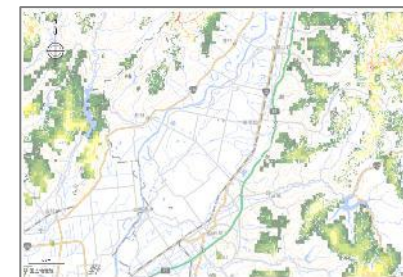
【太陽光発電】

平野の都市部に（建物系）ポテンシャルが高い



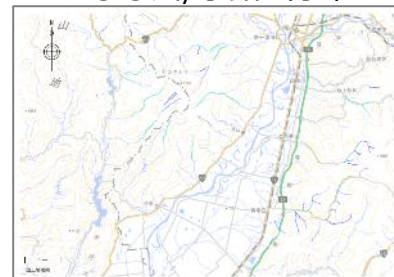
【風力発電】

山間部の一部に分布



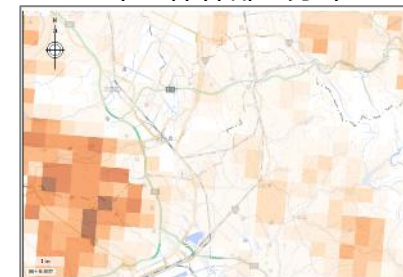
【中小水力発電】

〇〇川/水路に分布



【木質バイオマス発電】

A市の森林部に分布



出典：再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS（リーポス）】（環境省）（<https://repos.env.go.jp/web/>）を加工して作成

6. 再エネ導入ポテンシャルの把握

【機能のご紹介】再エネ導入ポテンシャルメニュー（地図）

REPOSサイトリンク：再エネ導入ポテンシャルメニュー＞地図

■ 再エネ導入ポテンシャルメニュー 地図

太陽光（建物系・土地系）、陸上風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスの再エネ種別ごとに、地図上で再エネの導入可能性がある区域を把握できます。

【当機能で表示できる情報】

■ 再エネポテンシャル情報

- 太陽光（建物系/土地系）※
- 風力（陸上/洋上）
- 中小水力
- 地熱・地中熱・太陽熱
- 木質バイオマス

※建物・土地区分に応じた、太陽光発電の導入ポテンシャルを表示できます。
（建物：官公庁、病院、学校 等）
（土地：田、畑、水上）

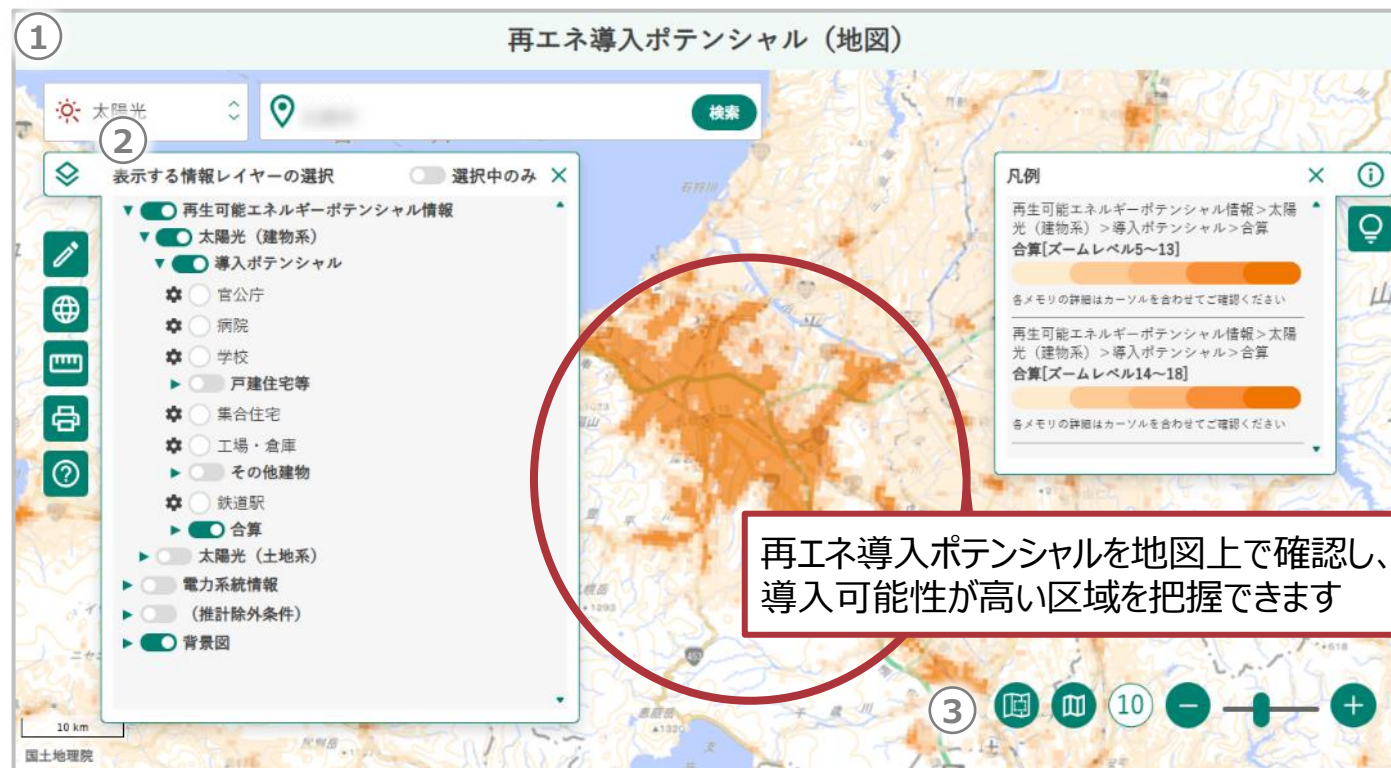
■ 電力系統情報

- 発電所
- 変電所・開閉所・変換所
- 送電線

■ (推計除外条件)※

- 自然環境保全地域
- 土砂災害関連情報 等

※再エネ導入ポテンシャルを推計する際に除外されている条件



再エネ導入ポテンシャル (地図)

表示する情報レイヤーの選択 選択中のみ

- 再生可能エネルギーポテンシャル情報
 - 太陽光 (建物系)
 - 官公庁
 - 病院
 - 学校
 - 戸建住宅等
 - 集合住宅
 - 工場・倉庫
 - その他建物
 - 鉄道駅
 - 合算
 - 太陽光 (土地系)
- 電力系統情報
 - (推計除外条件)
- 背景図

凡例

再生可能エネルギーポテンシャル情報＞太陽光 (建物系)＞導入ポテンシャル＞合算 [ズームレベル5～13]

各メモリの詳細はカーソルを合わせてご確認ください

再生可能エネルギーポテンシャル情報＞太陽光 (建物系)＞導入ポテンシャル＞合算 [ズームレベル14～18]

各メモリの詳細はカーソルを合わせてご確認ください

再エネ導入ポテンシャルを地図上で確認し、導入可能性が高い区域を把握できます

操作方法

- ① 太陽光、風力、中小水力、地熱、地中熱、太陽熱、木質バイオマスから、確認したい再エネ種別を選択
- ② 表示する情報レイヤーを選択
- ③ 背景の地図や地図のズームレベルを調整

※レイヤーによって表示できるズームレベルが異なります。表示されない場合はズームレベルを調整ください

6. 再エネ導入ポテンシャルの把握

【機能のご紹介】再エネ情報カルテ、再エネ導入ポテンシャルメニュー（推計値）



REPOSサイトリンク：搭載データ>自治体再エネ情報カルテ>太陽光詳細版

■ 自治体再エネ情報カルテ

自治体ごとの再エネ導入ポテンシャルの詳細数値に加え、再エネ導入に関連する再エネ実績、需要量、排出量等に関する情報も確認できます。

【当機能で表示できる情報】

■ 再エネポテンシャル数値情報

- 再エネ導入ポテンシャル、賦存量（合計/再エネ種別）
- 太陽光建物別/土地別導入ポテンシャル
- 木質バイオマス詳細情報

■ 検討の関連情報

- 再エネ導入実績（FIT/FIP）
- 域内電力需要量
- CO2排出量

自治体再エネ情報カルテ（概要版）

■ ポテンシャルに関する情報

太陽光			
風力			
中小水力			
地熱			
地中熱			
太陽熱			
木質バイオマス			

■ 導入実績に関する情報

■ 需要量に関する情報

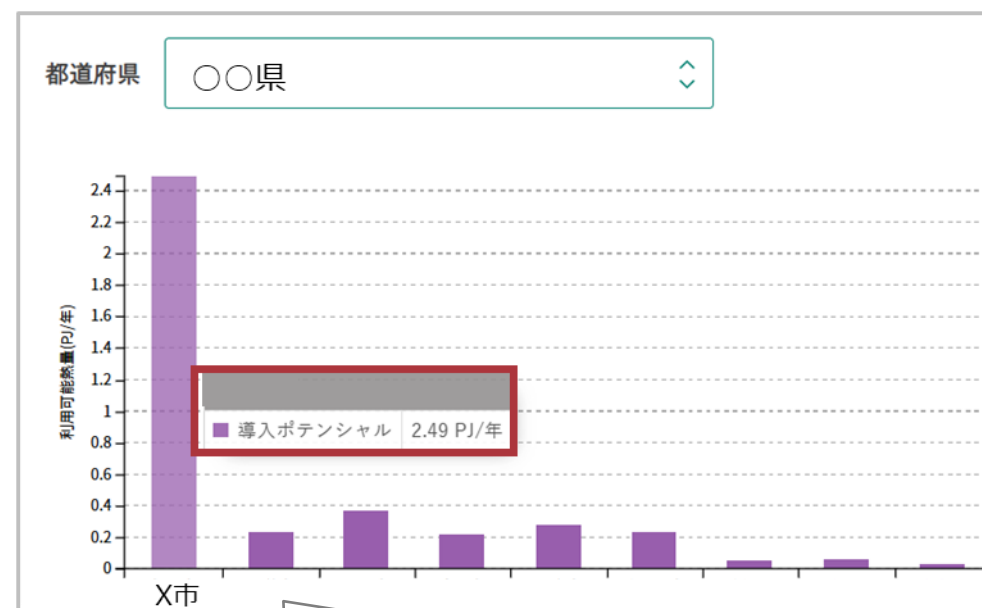
■ 関連情報

はじめに 概要版 詳細版 太陽光詳細版 木質バイオマス詳細版

REPOSサイトリンク：再エネ導入ポテンシャルメニュー>推計値

■ 再エネ導入ポテンシャルメニュー 推計値

再エネ種別ごとに、再エネ導入ポテンシャルの数値を棒グラフや表形式で把握し、他自治体と比較した現状を確認できます。



選択した再エネ種の導入ポテンシャルの都道府県別・市区町村別のグラフ・表を確認できます

地域脱炭素の実現に向けた検討における REPOSの活用方法

本章では、地方公共団体実行計画（区域施策編、地域脱炭素化促進事業編）の作成時など、地域脱炭素の実現に向けた検討におけるREPOSの活用方法を紹介します。

現状把握

- 再エネ導入ポテンシャルの把握

目標設定

- 再エネ導入目標の設定

施策策定

- 再エネ導入計画策定
- ゾーニング/促進区域検討
- 除外・考慮すべき区域の検討
- 関係者等との合意形成

7. 再エネ導入目標の設定

- 地域の再エネ導入目標量、再エネ種別ごとの導入目標の設定をする際に、REPOSの地域脱炭素化支援ツールの「再エネ導入目標設定」「促進区域検討」の機能では、電力需要量、CO2削減量等を把握しながら試算ができます。

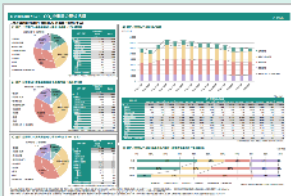


自治体内での再エネ導入に向けた検討

- 域内の需要量や再エネポテンシャル等の情報を把握した上で、**導入目標を設定**したい
- **再エネ種別毎**に細かく導入目標を設定したい
- 設定した目標に対して、**再エネ導入可能エリアの情報を見ながら**目標を修正したい

現状のCO2排出量を把握

自治体排出量カルテ



地域のGHG排出量・
電力需要量を連携

再エネ導入によるCO2削減量
を見比べながら再エネ導入目標
を検討できます

REPOSを活用した 排出削減に向けた再エネ導入目標の設定

- 「再エネ導入目標設定」ツールでは、電力需要量、CO2削減量等を把握しながら、再エネ導入目標を検討することができます。

STEP1 地域における再エネ導入目標を設定

再エネ導入目標の設定

再エネ導入目標の設定

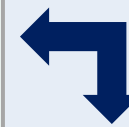
STEP2 再エネ種別ごとの再エネ導入目標を設定

再エネ種別ごとの再エネ導入目標の設定

合計導入量、CO2削減量：〇〇
全体排出量の□□%削減に相当
参考：貴自治体のCO2排出量△△

STEP3 目標との差分を確認

目標との差分を確認し、
FIT/FIP以外の導入実績を追加する



促進区域設定

建物系導入ポテンシャル

検討区域1

検討面積：9,115,336.72 m²

建物系	導入ポテンシャル (kW)	推計発電電力量 (kWh/年)
集合住宅	11,208	13,520,013
工場・倉庫	3,574	4,250,634
その他建物	60,381	77,834,061
合計	157	164,835

促進区域に設定 削除 再表示

目標設定を検討する際に活用できるREPOSの機能

地域脱炭素化支援ツール

再エネ導入目標設定

再エネ促進区域検討

7. 再エネ導入目標の設定

【活用イメージ】区域施策編等の計画における再エネ導入目標の設定

- 地方公共団体実行計画の区域施策編等において、地域の再エネ導入目標量を設定する際に、REPOSの「再エネ導入目標設定」画面で導入目標を試算することが可能です。

区域施策編等での再エネ導入目標設定に関するイメージ

4 温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

掲載イメージ

(3)再エネ導入目標値

再エネ導入ポテンシャル及び実際の導入可能性等を鑑み、2050年までに△△MWの再エネ導入を目標として設定している。

再生可能エネルギー導入目標及び推定CO2削減量

指標項目	基準 (〇〇年度)	中間目標 (〇〇年度)	目標 (2050年度)	CO2削減量 (2050年度)
FIT・FIP 導入容量 (再エネ種別)	〇〇kW	-	-	〇〇t-CO2/年
区域電力使用量	〇〇MWh/年	〇〇MWh/年*	〇〇MWh/年*	-
再エネ設備容量	△△MW	△△MW	△△MW	〇〇t-CO2/年
再エネ年間 発電電力量	△△MWh/年	△△MWh/年	△△MWh/年	〇〇t-CO2/年
使用電力の 再エネ比率	□□%	□□%	□□%	-

*予測値

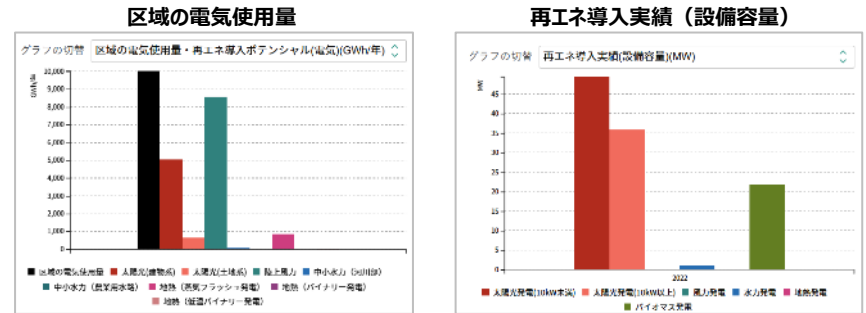
再エネの導入に伴い2050年時点のCO2の排出削減量は〇〇になり、基準年と比較して〇〇%を削減していることになる。

2050年度の予測電力需要量のうち、再エネ導入目標量は□□%を占める。

試算
結果を
採用

REPOSを活用した目標設定の検討内容（例）

- REPOSで、FIT・FIP認定済設備容量の導入実績、区域の電力需要量を確認します。



- 2050年度の削減目標達成に向けて、複数のシナリオを設定します。
- 再エネ導入ポテンシャルをもとに、各シナリオでの導入割合を設定し、REPOSの「再エネ導入目標設定」画面で再エネ導入目標を試算します。

再エネ種別	再エネ導入 ポテンシャル (MW)	シナリオ①基本		シナリオ②強化	
		ポテンシャル に対する 導入割合(%)	目標設備容量 (MW)	ポテンシャル に対する 導入割合(%)	目標設備容量 (MW)
太陽光 (建物系)	〇〇	◇◇	△△	◇◇	△△
太陽光 (土地系)	〇〇	◇◇	△△	◇◇	△△
陸上風力	〇〇	◇◇	△△	◇◇	△△
...					
木質バイオマス	〇〇	◇◇	△△	◇◇	△△
合計	〇〇		△△		△△

7. 再エネ導入目標の設定

【機能のご紹介】目標設定のパターン選択

REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ導入目標設定

■ 地域脱炭素化支援ツール 再エネ導入目標設定

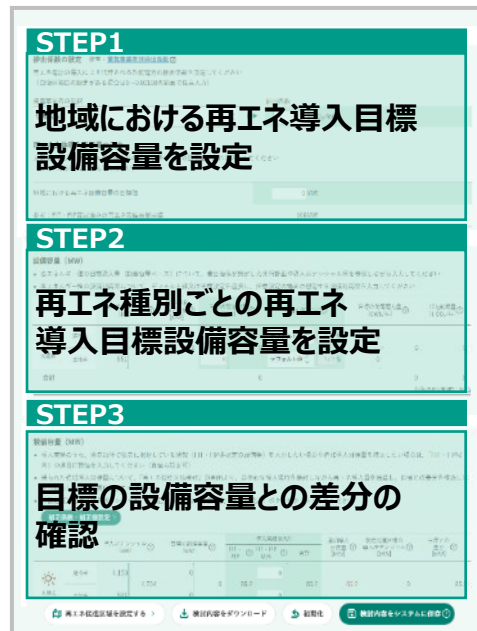
自治体での目標設定状況や、地域の再エネ導入ポテンシャルと電力需要量のバランスを踏まえて、目標設定の方法を2パターンから選択することができます。

設定済みの再エネ導入目標を基に検討したいとき

設備容量ベース

→P.26~27

地方公共団体実行計画（区域施策編）やゼロカーボンビジョン等で設定済みの設備容量ベース[MW]の再エネ導入目標に対して、**地域全体や再エネ種別ごとの導入目標量をMWベースで目標値を設定**



The screenshot shows a three-step process for setting targets based on equipment capacity. Step 1 is titled '地域における再エネ導入目標 設備容量を設定' (Setting equipment capacity for RENE introduction in the region). Step 2 is '再エネ種別ごとの再エネ導入目標設備容量を設定' (Setting RENE introduction target equipment capacity by RENE type). Step 3 is '目標の設備容量との差分の確認' (Confirmation of the difference between the target and equipment capacity). The interface includes input fields for various RENE types and a summary table at the bottom.

【入力】

- **トップダウン式**
設定済みの導入目標の設備容量に対して、ポテンシャルを基に再エネ種別ごとに導入目標を設定
- or
- **ボトムアップ式**
ポテンシャルを基に再エネ種別ごとの導入目標を設定し、合計値を全体の導入目標として記入

【調整】

排出量、導入実績、導入場所を考慮しつつ目標の設備容量を調整

地域の電力需要量を基に検討したいとき

域内の電力需要ベース

→ P.28~29

再エネ導入の設備容量の目標は設定していないが、**電力量[GWh]ベースで設定した再エネ導入量・導入割合の目標**（以下再エネ比率）に対して、域内の**電力需要量**を参照しながら、**GWhベースで目標値を設定**



The screenshot shows a three-step process for setting targets based on electricity demand. Step 1 is titled '地域における再エネ導入目標 発電量を設定' (Setting RENE generation for introduction in the region). Step 2 is '再エネ種別ごとの再エネ導入目標発電量を設定' (Setting RENE introduction target generation by RENE type). Step 3 is '目標の再エネ発電量との差分の確認' (Confirmation of the difference between the target and RENE generation). The interface includes input fields for RENE types and a summary table at the bottom.

【入力】

自治体の電力需要量をもとに、再エネ発電量の全体目標値を設定し、ポテンシャルを基に再エネ種別ごとの導入比率を設定

【調整】

排出量、導入実績、導入場所を考慮しつつ目標の発電量を調整

7. 再エネ導入目標の設定

【機能のご紹介】再エネ導入目標設定 ～設備容量ベース～



REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ導入目標設定

■ 地域脱炭素化支援ツール 再エネ導入目標設定

再エネ導入ポテンシャルや導入実績を参照しながら、再エネ導入の設備容量目標を設定できます。

1 選択中の自治体

2 グラフの切替 区域の電気使用量・再エネ導入実績(発電量)(GWh/年)

3 設備容量[MW] 域内の電力需要[GWh]

1. 設備容量ベース
地方公共団体実行計画（区域脱炭素）やゼロカーボンビジョン等で、既に定量的な設備容量ベース[MW]の導入目標を設定している自治体を想定した設定方法です。再エネ導入に係る地域全体の目標値やエネルギー種別の目標値をMWベースで設定します。

2. 電力需要ベース
設備容量ベースの目標値は設定していないが、電力量[GWh]での再エネ導入目標や再エネ導入割合を設定している自治体を想定した設定方法です。過去の年度の実績を参照しながら、GWhベースで目標値を設定します。

1 自治体を選択

2 目標設定時に必要となる**関連情報**を確認

【REPOSで確認できる情報】

- 再エネ導入実績量（FIT/FIP）
- 再エネ導入ポテンシャル

【自治体排出量カルテで確認できる情報】

- CO2排出量

3 地域全体の目標設定方法で**設備容量ベース**を選択

STEP1 地域における再エネ導入目標量を設定

STEP1 地域における再エネ導入目標量を設定

排出係数の設定
再エネ電源の導入により代替される系統電力の排出係数を設定してください
電気事業者を選択した場合は、「電気事業者別排出係数一覧」で公表されている「基礎排出係数」の「メニュー（残差）」の値が、排出係数として自動的に入力されます
※数値の詳細につきましては、「[電気事業者別排出係数一覧](#)」でご確認ください
自治体が独自に排出係数を設定している場合は、「任意入力」を選択の上、0～0.00100の範囲で入力をしてください

4 電気事業者の選択 排出係数
任意設定 0 t-CO₂/kWh

再エネ全体導入目標量の入力
太陽光、風力等のエネルギー種全体の設備容量ベースの目標値があれば入力してください
(なければSTEP2に進んでください)

5 地域における再エネ設備容量の目標値
0 MW

参考：FIT・FIP認定済みの再エネ設備容量実績
0MW

4 発電事業者を選択し、事業者ごとのデフォルト排出係数※を確認

※CO₂排出量[t-CO₂/年] = 排出係数[t-CO₂/kWh] × 発電電力量[GWh/年]5 既に設定している、またはCO₂削減量等から逆算した再エネ導入目標量を入力

POINT !

- STEP2、3で再エネ種別ごとに導入目標量を設定した上で、再エネ設備容量の目標値を入力することも可能

7. 再エネ導入目標の設定

【機能のご紹介】再エネ導入目標設定 ～設備容量ベース～



REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ導入目標設定

STEP2 再エネ種別ごとの再エネ導入目標量を設定

STEP2 再エネ種別ごとの再エネ導入目標量を設定

設備容量 (MW)

- 各エネルギー種別の目標導入量（設備容量ベース）について、貴自治体が策定した実行計画や導入ポテンシャル等を参照しながら入力してください
- 各エネルギー種別の設備利用率について、デフォルト値又は任意設定を選択し、任意設定の場合は想定する設備利用率を入力してください
- 中小水力発電の「デフォルト値」には、中小水力の設備利用率が設定されています。中小水力の設備利用率を設定したい場合は、「任意入力」を選択し、任意で設備利用率を入力してください

エネルギー種別	導入ポテンシャル [MW]	FIT・FIP 導入実績 [MW]	目標の設備容量 [MW]	設備利用率 [%]	目標の発電電力量 [GWh/年]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂ /年]
太陽光	建物系	0	0	デフォルト値 15.8%	0	0
	土地系	0	0	デフォルト値 18.3%	0	0
風力	陸上	0	0	デフォルト値 29.6%	0	0
	洋上	0	0	デフォルト値 30%	0	0

STEP1との差分 STEP1の目標設定を基として 全体の0%削減に相当 参考：貴自治体のCO₂排出量 71,599

- 6 設置対象の施設、土地、気候や産業の状況を踏まえ、自治体の導入ポテンシャルと導入実績値を参照しながら、再エネ種別ごとの導入目標量及び設備利用率※を入力

※設備利用率[%] = 設備利用時間/24時間

※目標の発電電力量[GWh/年]は、目標設備容量[MW]と設備利用率[%]を基に算出

- 7 仮置きした再エネ導入目標が、域内のCO₂排出量のどの程度を削減できるかを確認し、現行の排出量と比較しながら、導入目標量を調整

【REPOSで確認できる情報】

- CO₂排出量
- CO₂排出削減量：再エネ種別、合計量、全体排出量に相当する比率

STEP3 目標の設備容量との差分を確認

STEP3 目標の設備容量との差分の確認

設備容量 (MW)

- 導入実績のうち、貴自治体で独自に把握している情報（FIT・FIP非認定の設備等）を入力したい場合や追加導入目標量を補正したい場合は、「FIT・FIP以外」の項目に数値を入力してください（負値も設定可）
- 得られた追加導入目標量について、「再エネ促進区域検討」の画面より、具体的な導入場所を検討しながら再エネ導入量を概算し、目標との差分を確認しながら設定した目標を具体化してください
- 「設定促進区域の導入ポテンシャル」を補正する場合は「補正係数・補正值設定」ボタンをクリックしてください

補正係数・補正值設定 >

エネルギー種別	導入ポテンシャル [MW]	目標の設備容量 [MW]	FIT・FIP 導入実績 [MW]	FIT・FIP 以外 [MW]	合計 [MW]	追加導入目標量 [MW]	設定促進区域の導入ポテンシャル [MW]	目標との差分 [MW]
太陽光	建物系	4,153	0	0	85.2	-85.2	0	85.2
	土地系	551	0	0	0	0	0	0

9 再エネ促進区域を設定する > 10 検討内容をシステムに保存

- 8 導入実績のうち、自治体で独自に把握している情報（非FIT・非FIPの設備等）を入力したい場合や、追加導入目標量を補正したい場合は数値[MW]を入力

- 9 「再エネ促進区域検討」に遷移し、導入検討の候補地を設定した上、補正係数を設定し、設定促進区域の導入ポテンシャルと目標との差分を確認しながら STEP2 で目標を修正

再エネ促進区域検討を考慮した再エネ導入目標の調整については、P.30をご参照ください

※追加導入目標量 = 導入目標 - 導入実績

※目標との差分 = 導入目標 - 導入実績 - 設定促進区域の導入ポテンシャル

- 10 検討内容をREPOSシステム上で保存し、次回検討時に参照可能（ログイン時の限定機能）

7. 再エネ導入目標の設定

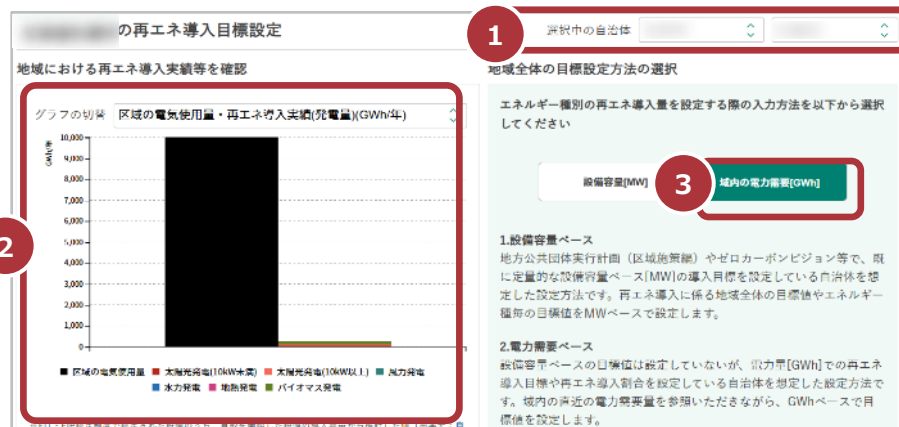
【機能のご紹介】再エネ導入目標設定 ～域内の電力需要ベース～



REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ導入目標設定

■ 地域脱炭素化支援ツール 再エネ導入目標設定

域内の電力需要量や導入実績を参照しながら、再エネ導入の発電量目標を設定できます。



- 1 自治体を選択
- 2 目標設定時に必要となる**関連情報**を確認

【REPOSで確認できる情報】

- 域内の電力需要量/熱需要量
- 再エネ導入実績量 (FIT/FIP)
- 再エネ導入ポテンシャル

【自治体排出量カルテで確認できる情報】

- CO2排出量

- 3 地域全体の目標設定方法で域内の電力需要ベースを選択

STEP1 地域における再エネ導入目標量を設定

- 4 発電事業者を選択し、事業者ごとのデフォルト排出係数※を確認

※CO2排出量[t-CO2/年] = 排出係数[t-CO2/kWh] × 発電電力量[GWh/年]

- 5 自治体の電力需要を確認した上で、再エネ発電量の目標値を入力し電力需要をどの程度賄うことができるかの比率を確認

POINT !

- 自治体の電力需要の内どの程度を再エネで賄いたいかの比率を設定し、逆算して再エネ発電量の目標値を入力することも可能

7. 再エネ導入目標の設定

【機能のご紹介】再エネ導入目標設定 ～域内の電力需要ベース～



REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ導入目標設定

STEP2 再エネ種別ごとの再エネ導入目標量を設定

STEP2 再エネ種別ごとの再エネ導入目標量を設定

発電量 (GWh/年)

- STEP1で設定した再エネ発電量の目標値を、貴自治体が策定した実行計画や導入ポテンシャル等を参照しながら、各エネルギー種の比率を入力することで割り当ててください
- 各エネルギー種の設備利用率について、デフォルト値又は任意設定を選択し、任意設定の場合は想定する設備利用率を入力してください
- 中小水力の「デフォルト値」には、中小水力の設備利用率が設定されています。中小水力の設備利用率を設定したい場合は、「任意入力」を選択し、任意で値を入力してください

再エネ種別	導入ポテンシャル [GWh/年]	FIT・FIP 導入実績 [GWh/年]	目標の発電電力量を推す 再エネ比率 [%]	目標の発電電力量 [GWh/年]	設備利用率 [%]	設備容量 [MW]	CO ₂ 削減量 [t-CO ₂ /年]
太陽光	0	0	0%	0	デフォルト値	0	0
太陽光	0	0	0%	0	デフォルト値	0	0
風力	0	0	0%	0	デフォルト値	0	0
風力	0	0	0%	0	デフォルト値	0	0
合計			0%	0			0

STEP1との差分 各再エネ比率の合計が100%になっていません。 参考：貴自治体のCO₂排出量 11,982,477

- 6 設置対象の施設、土地、気候や産業の状況を踏まえ、自治体の導入ポテンシャルと実績値を参照しながら、再エネ種別ごとに、目標の発電電力量を賄う再エネ比率及び設備利用率※を入力
- ※設備利用率[%] = 設備利用時間/24時間
- ※目標の発電電力量[GWh/年]は、目標設備容量[MW]と設備利用率[%]を基に算出

- 7 仮置きした再エネ導入目標が、域内のCO₂排出量のどの程度を削減できるかを確認し、現行の排出量と比較しながら、目標の発電電力量を賄う再エネ比率の合計が100%となるよう、再エネ導入目標を調整

【REPOSで確認できる情報】

- CO₂排出量
- 導入目標による発電量：再エネ種別、合計量
- CO₂排出削減量：再エネ種別、合計量、全体排出量に相当する比率

STEP3 目標の再エネ発電量との差分の確認

STEP3 目標の再エネ発電量との差分の確認

発電量 (GWh/年)

- 導入実績のうち、貴自治体で独自に把握している情報 (FIT・FIP非認定の設備等) を入力したい場合や追加導入目標量を補正したい場合は、「FIT・FIP以外」の項目に数値を入力してください (負値も設定可)
- 得られた追加導入目標量について、「再エネ促進区域検討」の画面より、具体的な導入場所を検討しながら再エネ導入量を概算し、目標との差分を確認しながら設定した目標を具体化してください
- 「設定促進区域の導入ポテンシャル」を補正する場合は「補正係数・補正係設定」ボタンをクリックしてください

補正係数・補正係設定

再エネ種別	導入ポテンシャル [GWh/年]	目標の発電電力量 [GWh/年]	FIT・FIP 以外	合計	追加導入目標量 [GWh/年]	設定促進区域の導入ポテンシャル [GWh/年]	目標との差分 [GWh/年]
太陽光	5,047	5,711	0	106.7	0	-107	107
太陽光	665	0	0	0	0	0	0

9 再エネ促進区域を設定する > 10 検討内容をシステムに保存

- 8 導入実績のうち、自治体で独自に把握している情報 (非FIT・非FIPの設備等) を入力したい場合や追加導入目標量を補正したい場合は数値[GWh/年]を入力
- 9 「再エネ促進区域検討」に遷移し、導入検討の候補地を設定した上、補正係数を設定し、設定促進区域の導入ポテンシャルと目標との差分を確認しながらSTEP2で目標を修正
- 再エネ促進区域検討を考慮した再エネ導入目標の調整については、P.30をご参照ください
- ※追加導入目標量 = 導入目標 - 導入実績
- ※目標との差分 = 導入目標 - 導入実績 - 設定促進区域の導入ポテンシャル
- 10 検討内容をREPOSシステム上で保存し、次回検討時に参照可能 (ログイン時の限定機能)

地域脱炭素の実現に向けた検討における REPOSの活用方法

本章では、地方公共団体実行計画（区域施策編、地域脱炭素化促進事業編）の作成時など、地域脱炭素の実現に向けた検討におけるREPOSの活用方法を紹介します。

現状把握

- 再エネ導入ポテンシャルの把握

目標設定

- 再エネ導入目標の設定

施策策定

- 再エネ導入計画策定
- ゾーニング/促進区域検討
- 除外・考慮すべき区域の検討
- 関係者等との合意形成

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

- 再エネ導入目標の達成に向け、促進区域の設定等の具体的な再エネ導入施策を検討する際に、REPOSの促進区域検討機能等を活用して、導入可能なエリア、導入に適さないエリアの両面から検討が可能です。
- また、自治体が保有する地域情報の投稿により、地域特性を考慮した再エネ導入施策を検討することもできます。

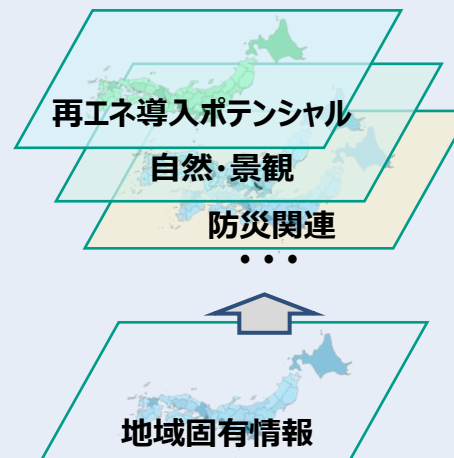


自治体内での再エネ導入に向けた検討

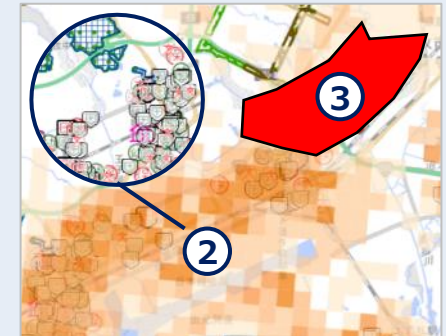
- 再エネ設備の導入に適さないエリアを把握した上で関係者と合意形成を図りつつゾーニングの検討を行いたい
- 複数の情報源を組み合わせた除外エリアの確認に手間がかかる
- 複数のGIS情報と、REPOS上の再エネポテンシャルとを併せて地図上で確認したい

REPOSを活用した再エネ導入促進区域・ゾーニング等の検討

- 再エネ導入ポテンシャルや導入時に除外・考慮すべき区域情報・環境情報を地図で重ね合わせながら、設定した目標値を参照し、促進区域を検討できます
- 自治体が保有する地域固有のGIS情報を投稿し、REPOSの情報と合わせて検討をすることも可能です



促進区域
設定に係る
環境省令
関連情報



- ① 再エネ導入ポテンシャル例：太陽光（建物系）
- ② 需要地情報 例：学校、病院
- ③ 除外情報 例：鳥獣保護区（国指定）

施策を策定する際に活用できるREPOSの機能

地域脱炭素化支援ツール

再エネ促進区域検討

促進区域検討

地域固有情報の投稿

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

【活用イメージ】区域施策編等の計画における再エネ導入適地の検討



- 区域施策編等の計画において、REPOS上のポテンシャル情報、導入に適さない地域情報等を地図上で可視化し、再エネ導入促進区域・ゾーニング等の検討材料として掲載いただくことが可能です。

区域施策編等での再エネ導入施策に関する検討のイメージ

促進事業編等でのゾーニングに関する検討のイメージ

4 温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策

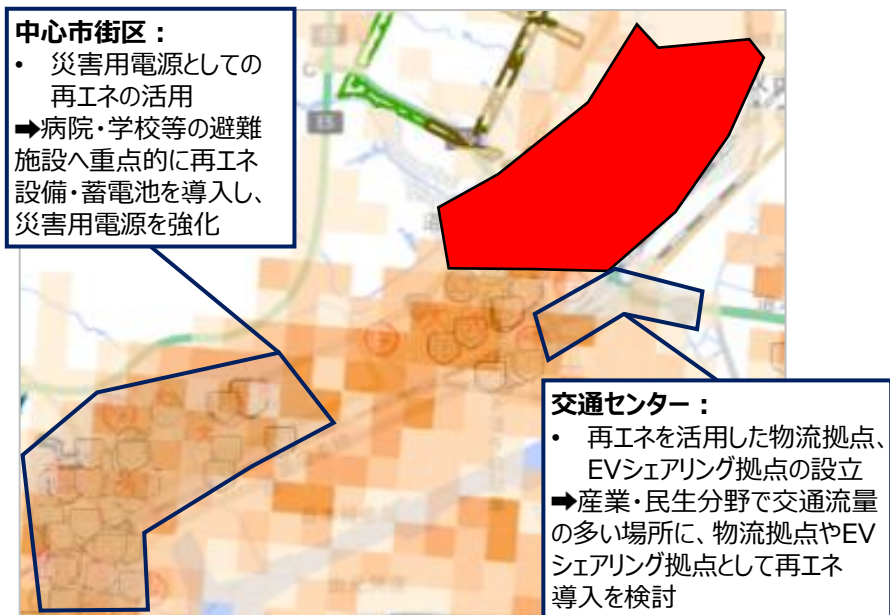
掲載イメージ

(4)再生可能エネルギーの導入促進

A市では、再エネ導入促進において以下の重点施策に取り組んでいる。

- 施策1：災害用電源としての再エネの活用
- 施策2：再エネを活用した物流拠点、EVシェアリング拠点の設立

再エネ導入取組重点エリア（太陽光）



出典：再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS（リーポス）】（環境省）（<https://repos.env.go.jp/web/>）を加工して作成

2 地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項の設定

掲載イメージ

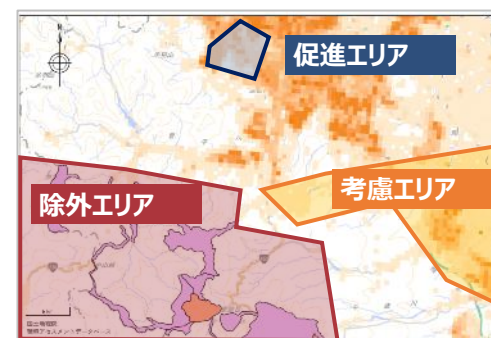
(1)促進事業の再エネ導入目標

指標項目	基準 (〇〇年度)	中間目標 (〇〇年度)	目標 (2050年度)
GHG排出量の削減目標	〇〇t-CO2/年	〇〇t-CO2/年	〇〇t-CO2/年
再エネ導入目標	△△MW	△△MW	△△MW
促進事業の再エネ導入目標	△△MW	△△MW	△△MW

(2) 促進区域の基準設定

分類	基準	項目	情報
除外	国	生物多様性に係る情報	自然環境保全地域
考慮	〇〇県	生物多様性に係る情報	鳥獣保護区（都道府県指定）
考慮	〇〇市	社会的な調整が必要な地域	保全対象施設：学校、病院等
促進	—	事業性に係る情報	再エネポテンシャル情報

(3) 促進区域の設定



出典：再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS（リーポス）】（環境省）（<https://repos.env.go.jp/web/>）を加工して作成

➔資料を基に関係者と調整

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

【機能のご紹介】再エネ促進区域検討：促進区域の設定

REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ促進区域検討

■ 地域脱炭素化支援ツール

再エネ促進区域検討

地図上で再エネ導入を検討したい区域を描画・選択し、再エネ導入ポテンシャルや推計発電電力量を確認できます。また、再エネ導入を検討する区域の選択結果を出力することもできます。

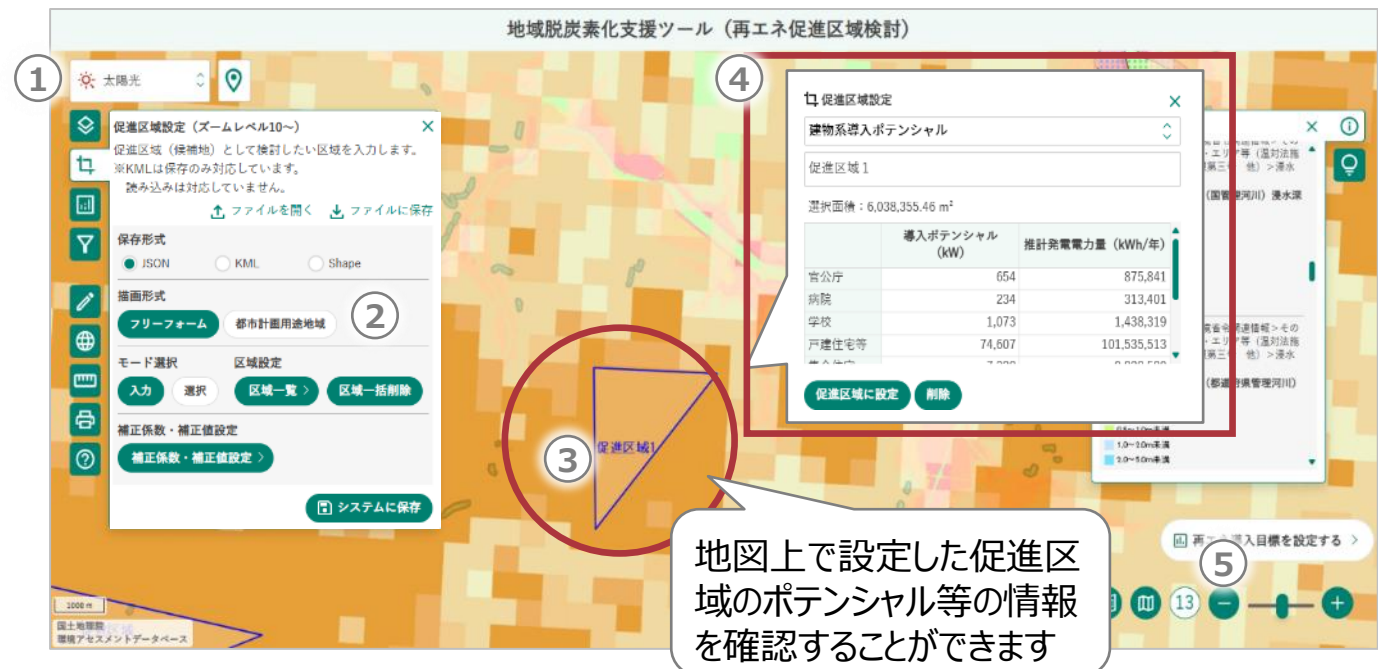
【当機能で表示できる情報】
（設定した区域）

■ 太陽光（建物系/土地系）

- 選択面積
（全体、カテゴリー別）
- 導入ポテンシャル
（カテゴリー別）
- 推計発電電力量
- 建物/土地個数

■ 陸上風力

- 選択面積
- 風況マップ
- 賦存量、導入ポテンシャル
（推計発電電力量、平均風速）



地域脱炭素化支援ツール（再エネ促進区域検討）

① 促進区域設定（ズームレベル10〜）
 促進区域（接地点）として検討したい区域を入力します。
 ※KMLは保存のみ対応しています。
 読み込みは対応していません。
 ファイルを開く ファイルを保存
 保存形式
 JSON KML Shape
 描画形式
 フリーフォーム 都市計画用途地域 ②
 モード選択 区域設定
 入力 選択 区域一覧 > 区域一括削除
 補正係数・補正值設定
 補正係数・補正值設定
 システムに保存

④ 促進区域設定
 建物系導入ポテンシャル
 促進区域 1
 選択面積：6,038,355.46 m²

	導入ポテンシャル (kW)	推計発電電力量 (kWh/年)
官公庁	654	875,841
病院	234	313,401
学校	1,073	1,438,319
戸建住宅等	74,607	101,535,513

 促進区域に設定 削除

③ 促進区域 1

⑤ 再エネ導入目標を設定する >

⑥ 地図上で設定した促進区域のポテンシャル等の情報を確認することができます

※設定した再エネ導入を促進したい区域はREPOSのシステム上で保存することが可能（ログイン限定機能）

操作方法

- ① 導入検討区域を設定したい再エネ種を選択：太陽光（建物系/土地系）、風力（陸上風力）
- ② 描画形式*、モードを選択する
 ※フリーフォーム：自由に描画
 ※都市計画用途地域：都市計画用途地域で色塗りされている場所を押下
- ③ （フリーフォームの場合）再エネ導入を検討したい区域に対して、地図上でカーソルが●の状態を描画
- ④ 区域の再エネ導入ポテンシャル情報、推計発電電力量の情報を確認し、再エネ導入を促進したい区域を設定
- ⑤ 「再エネ導入目標設定」画面に戻り、目標を再度検討の上、設定した区域の再エネ導入ポテンシャル量を確認

※本機能は太陽光、風力のみ対応しています。

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

【機能のご紹介】再エネ促進区域検討：除外情報の確認

■ 地域脱炭素化支援ツール

再エネ促進区域検討

再エネ促進区域検討画面では、自然保護区等様々な情報レイヤーが搭載されています。除外・考慮が必要な区域や、留意が必要な施設を選択することで、再エネ設備の導入に適さない区域を把握した上で促進区域を検討できます。

【当機能で表示できる主要情報】

■ 促進区域設定に係る
環境省令関連情報

- 一律に除外すべき区域
- 考慮が必要な区域
- その他の留意が必要な施設・エリア等

■ 需要地情報

- 建築物/図書館/福祉施設/
病院、診療所/学校

■ 再エネ導入ポテンシャル情報

- 太陽光（建物系/土地系）
- 風力（陸上風力）

...



※1 搭載情報の詳細は搭載データ一覧または当ガイドのP.12にて確認可能

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

【機能のご紹介】再エネ促進区域検討：地域固有情報の投稿



REPOSサイトリンク：地域脱炭素化支援ツール>再エネ促進区域検討>地域固有情報の投稿

■ 地域脱炭素化支援ツール

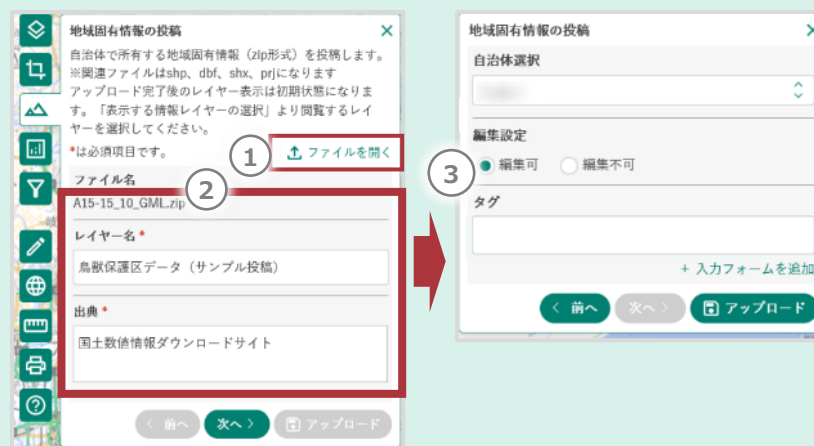
再エネ促進区域検討

地域固有情報の投稿

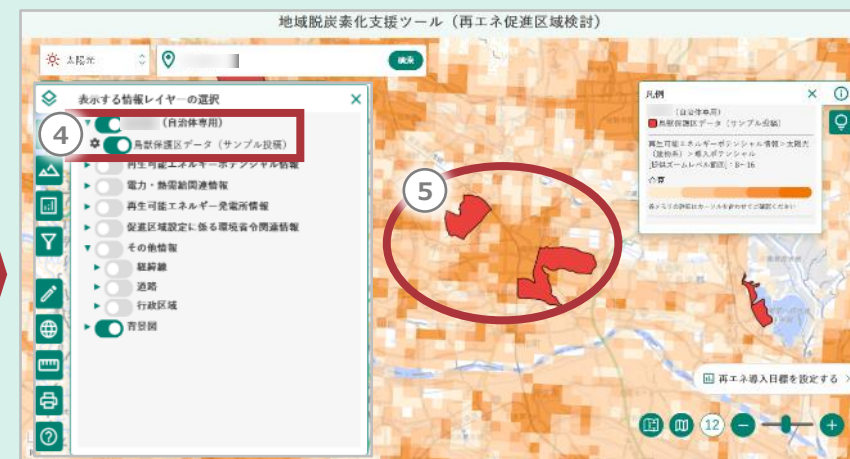
※本機能はログイン時のみ利用可能

自治体が地域の独自特性に基づいて導入可能区域や除外区域を検討したい場合、または独自情報を活用して地域施策を考慮した再エネ導入を検討したい場合、外部のGIS情報をREPOS上に投稿し、ポテンシャル情報や除外情報と重ね合わせて検討することが可能です。

保有するGIS情報をREPOSへ投稿



地図上で投稿情報を確認



【投稿できる情報】

■ 自治体が保有する地域独自のGIS情報

■ REPOSに搭載されていないが、外部から取得できるGIS情報

※本機能で投稿した情報は一般には公開されず、投稿した自治体のみが閲覧・利用可能となります

操作方法

- ① 投稿したいファイルを開く
※投稿できる情報はshpファイルのみです
関連ファイル (shp、dbf、shx、prj) を
まとめて1つのzip形式にして投稿してください
- ② 投稿情報のレイヤー名および出典を入力
- ③ 投稿先、編集設定を確認し、情報をアップロード

- ④ 投稿用のグループ「自治体名（自治体専用）」で投稿情報のレイヤーを確認
- ⑤ 地図上で投稿情報を確認
※投稿情報は外部には公開されず、
投稿した自治体内のみで確認できます

8. 再エネ促進区域・ゾーニング等の検討

【機能のご紹介】再エネ促進区域検討：地域固有情報の投稿



REPOSサイトリンク：[地域脱炭素化支援ツール](#)>[再エネ促進区域検討](#)>[地域固有情報の投稿](#)

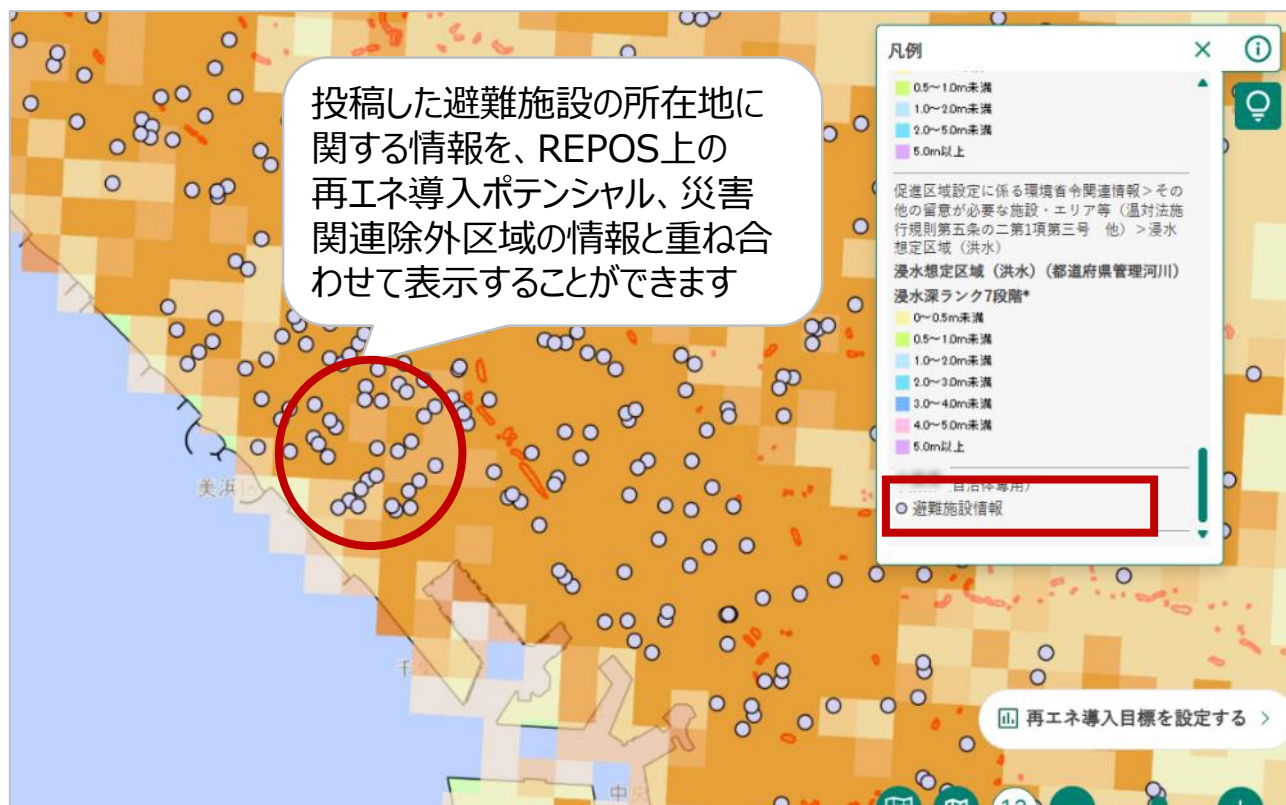
■ 地域脱炭素化支援ツール

再エネ促進区域検討

地域固有情報の投稿

※本機能はログイン時のみ利用可能

地域固有情報の投稿機能は、地域特性を考慮した再エネ導入の検討に役立ちます。
例えば、レジリエンスの強化を目的とした再エネ導入を検討する場合、避難施設の情報を投稿して地図上で確認し、防災用電源の導入に適した土地を検討することが可能です。



※自治体で独自のGISデータをお持ちの場合は当該データを投稿いただくことが可能です。
また、[国土数値情報ダウンロードサイト](#)（国土交通省）等の外部サイトでGISデータを入手し、投稿することも可能です。

活用方法の一例

【レジリエンス強化を考慮した再エネ導入の検討】

学校・体育館等の公共施設や指定避難所への防災用電源の導入に適した土地を検討できます。

■ REPOS上の搭載情報

- 再エネ導入ポテンシャル情報
- 浸水想定区域（洪水/津波）

■ 投稿情報

- 避難施設データ（国土数値情報）

【まちづくりを考慮した再エネ導入の検討】

REPOS上の再エネ導入ポテンシャルと、交通流量が大きいと想定される物流拠点・高速バス停留所等の施設情報を重ね合わせて、EV充電施設の整備やEVシェアリングの導入に関する検討ができます。

■ 投稿情報

- 物流拠点（国土数値情報）
- 高速バス停留所データ（国土数値情報）

9. ユーザー登録機能

- ユーザー登録をすることで、REPOSの地域固有情報の投稿機能、検討内容の保存機能等を活用できます。
※ユーザー登録機能は自治体のご担当者と関連事業者（当該自治体担当者が招待した事業者）のみご利用可能です。

ユーザー登録の方法

「ユーザー登録」画面にて、「lg.jp」ドメインのメールアドレスを入力し、「同意してユーザー登録をする」を押下すると、ご指定のメールアドレスに「【REPOS】ユーザー仮登録のお知らせ」のメールが届きますので、手順に沿ってご登録ください。



登録・ログインにより、使用できる機能

- 地域固有情報の投稿
 - 地域固有情報のアップロード
 - マイページでの一括管理や内容変更
- 目標設定・促進区域検討等の保存
 - 検討内容を保存し、次回検討時に参照

【保存可能な情報】

 - 目標設定で入力済みの数値の保存
 - 設定した再エネ導入を促進したい区域の情報の保存
 - レイヤーの選択状態の保存
 - 地図上で作成した描画メモの保存

※「再エネ導入目標設定」機能等で、複数の設定パターンを保存する場合や、設定情報を長期に保存する必要がある場合は、ダウンロード機能をご活用ください。
- 「再エネ促進区域検討 > 地物ごとの情報抽出」における詳細の情報確認
 - 「建物区分」「農地」「ため池」ごとの再エネ導入ポテンシャルの確認
- 関連事業者の追加
 - 自治体担当者が招待することで関連事業者もユーザー機能を利用可能

活用例紹介

10. 計画策定業務における活用事例

再エネ導入ポテンシャルを基にした複数ケースを踏まえた目標設定（岐阜県恵那市）

- 岐阜県恵那市では、「恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」の中で、「基本対策（施策を着実に推進するケース）」と、「強化対策（基本対策を強化したケース）」の2つのシナリオを作成した上で、ゼロカーボンに向けた目標設定をしています。
- 風力・中小水力の再エネ導入によるGHG排出削減量を試算する際に、REPOSの再エネポテンシャルの推計値を活用されています。

目標達成に向けた対策の実行状況に関するケースの設定

- 分野別の対策において各2つのケースを策定し、各分野の対策を合わせた際のGHG排出量削減の達成度合いを確認
- 中小水力・風力の再エネ導入のケース検討時にREPOSの再エネ導入ポテンシャルの推計値を活用

■・・・

■ 中小水力

■ 風力：

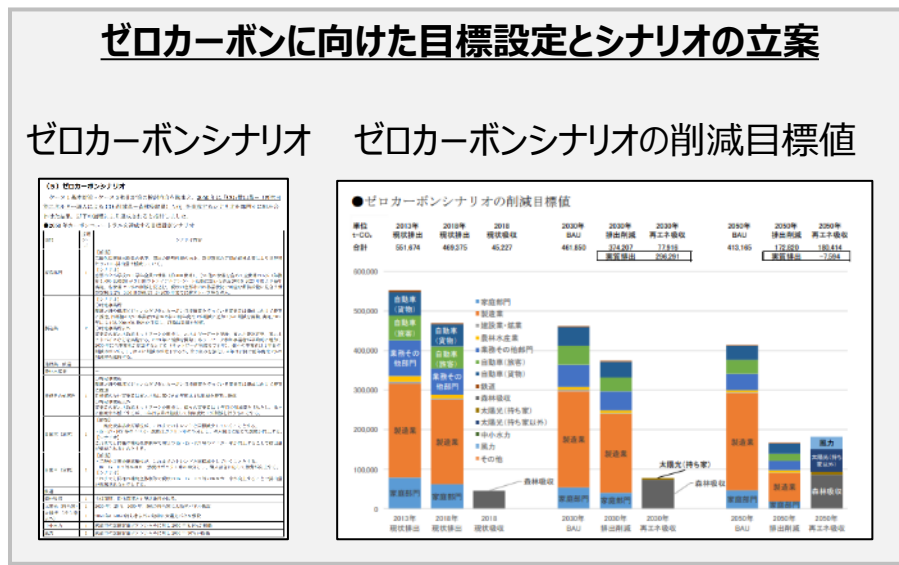
ケース1： 基本対策	REPOSの風力発電の設備容量ポテンシャルに対し、2050年に 30% が稼働
ケース2： 強化対策	REPOSの風力発電の設備容量ポテンシャルに対し、2050年に 42% が稼働

REPOSの再エネ導入ポテンシャルに対して、導入割合を設定

2050年ゼロカーボンが、ケース1では未達、ケース2でほぼ達成可能であることを試算により確認

目標達成に向けたシナリオの立案

- 各分野での対策を組み合わせ、市全体として2050年ゼロカーボンを達成する上でのシナリオを策定



10. 計画策定業務における活用事例

再エネ導入ポテンシャルマップを参考にした促進区域の検討（北海道知内町）

- 北海道知内町では、促進区域設定に関する国・都道府県基準や、地域の自然・社会条件などの条件を考慮し、町全体の再エネ導入に向けたゾーニングマップで、**保全エリア**・**調整エリア**・**促進エリア**を設定しています。
- 促進エリアの設定をする際に、REPOSが提供している再エネ導入ポテンシャル情報（風況データ等）をもとにして、陸上風力発電の導入に関する検討を進めています。

「保全エリア」「調整エリア」「促進エリア」の条件設定・情報収集

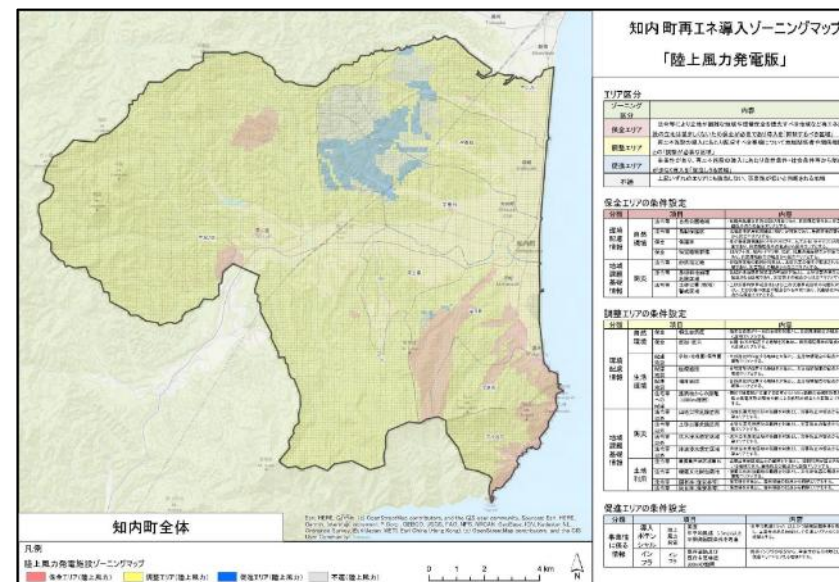
- 国・都道府県基準及び町内の自然・社会制約を考慮し、エリアの設定に向けて考慮すべき条件を設定
- 促進エリアの設定の際に、事業性に係る情報の一つとしてREPOSの再エネ導入ポテンシャル情報（風況データ）を活用

再エネ導入ゾーニングマップの作成

- 条件設定に基づき収集・整理したGISデータ等を用いて、情報の重ね合わせた上で、エリアを抽出

保全エリア		
■ 法令・環境保全などの観点により保全が必要であり、導入を「抑制するべき区域」		
・ 環境配慮情報	自然環境	例：鳥獣保護区
・ 地域課題基礎情報	防災	例：砂防指定地
調整エリア		
■ 配慮すべき事項について地域関係者・機関との「調整が必要な区域」		
・ 環境配慮情報	自然環境 生活環境	例：植生自然度 例：医療施設
・ 地域課題基礎情報	防災 土地利用	例：砂防指定地 例：国有林（保安林等）
促進エリア		
■ 事業性があり、自然・社会的な制約が少なく導入を「促進しうる区域」		
・ 事業性に係る情報	導入ポテンシャル インフラ	例：風況 年平均風速5.5m/s以上 例：既存道路及び既存主要林道300mの範囲

知内町再エネ導入ゾーニングマップ「陸上風力発電版」



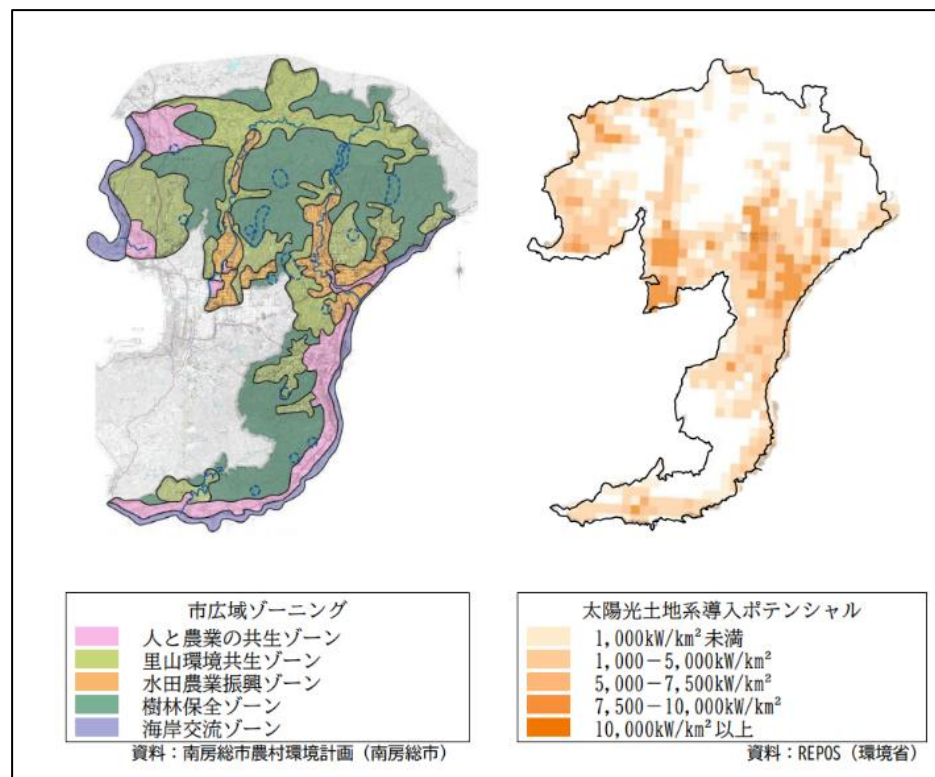
10. 計画策定業務における活用事例

市広域ゾーニングマップと再エネ導入ポテンシャルマップの比較（千葉県南房総市）

- 千葉県南房総市では、「南房総市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の中で、重点的に検討を行う取組の一つとして「耕作放棄地・遊休農地対策」を掲げています。
- その中で、太陽光発電設備の導入可能性を検討するにあたり、REPOSの太陽光（土地系）の情報を活用しています。

市内耕作放棄地・遊休農地における太陽光発電導入の検討

- 南房総市は「南房総市農村環境計画」の中で、豊かな農村環境資源を守り育てていくことを目的に、ゾーン設定を行い、それぞれの特性に応じた方針を設定
- 耕作放棄地・遊休農地の有効活用が必要な「人と農業の共生ゾーン」や「里山環境共生ゾーン」において、再エネ導入を検討し、情報提供や農地所有者とのマッチングを支援
- エリアごとに検討する上で、市広域ゾーニングマップと、REPOSの太陽光（土地系）ポテンシャルマップを比較



11. REPOSを活用した再エネ導入方針の検討例 ① 現状把握

本ページの
位置づけ

自治体内の再エネ導入方針の検討に際し、REPOSを実際に活用して議論を進める取り組みを、長崎県大村市の協力を得て実施しました
実際にREPOSの画面を大村市にご確認いただき、議論した結果を整理しています*

大村市の計画策定の状況

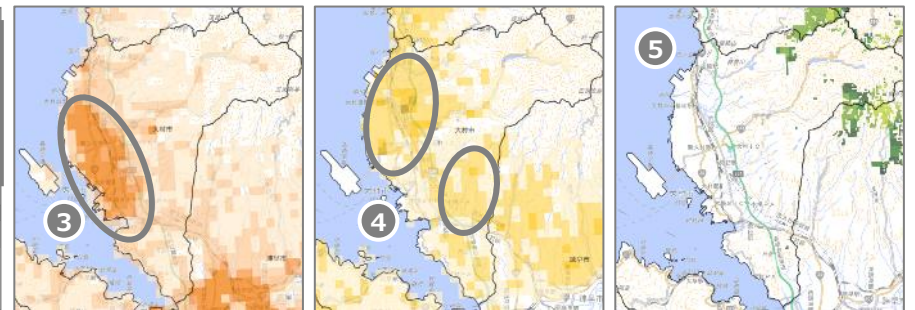


REPOSを活用した再エネ導入の検討イメージ

REPOSの情報を参照し、市内の再エネ導入可能性を確認

■ ポテンシャルに関する情報 ※1		
大区分	中区分	導入ポテンシャル 単位
太陽光	建物系	349,396 MW
	土地系	607,006 MW
	合計	957,302 MW
風力	陸上風力	35,400 MW
	河川部	1,160 MW
中小水力	農業用水路	- MW
	合計	1,160 MW
地熱	合計	0,768 MW
	合計	0,529 MW
再生可能エネルギー（電気）合計		577,726 998,291 MW
再生可能エネルギー（熱）合計		1,152,685.010 1,294,775.381 MWh/年
地中熱	-	772,126 MJ
太陽熱	-	4,236,216 MJ
再生可能エネルギー（熱）合計		13,746 103,688.963 GJ/年
木質バイオマス ※2	炭素量（森林由来分）	13,746
地熱	炭素量（発生量ベース） ※3	103,688.963
■ 需要量に関する情報		
区分	需要量等	単位
区域の電気使用量 ※5	549,769.157	MWh/年
熱需要量 ※6	5,012,605.768	GJ/年

REPOS 再エネ情報カルテ



REPOS 再エネ導入ポテンシャル
太陽光 建物系 / 太陽光 土地系 / 風力

区域施策編の改定に向けて、地域の再エネ資源を確認し、再エネがどの程度有効な施策であるかや、有望な再エネ種を検討したい

- ① 太陽光のポテンシャルが大きく、電気の再エネポテンシャルの大半を占める
- ② 再エネポテンシャルで、区域の電力需要量をカバーしうる
- ③ 工業地・住宅地で建物系太陽光の導入ポテンシャルが大きい
- ④ 農地で土地系太陽光の導入ポテンシャルが大きい
- ⑤ 風力発電の導入ポテンシャルは市全域で微小と考えられる

大村市の検討内容*：

「風力発電等のポテンシャルは大きくは見込めないことを改めて確認できる」
「太陽光発電が再エネ導入における有力候補となる点を認識できた」
「太陽光土地系のポテンシャルが高いエリアもあるが、新規の住宅建設が予定されるエリアも含まれるため、太陽光建物系の候補地としても考えられる」

*：本ページは、「令和7年度 再エネ導入ポテンシャル情報を活用した地域脱炭素推進のための情報提供方策検討委託業務」において、長崎県大村市の検討におけるREPOSの活用について、大村市と議論した結果を整理しています。実際の自治体の計画・施策とは異なる場合がある点にご留意ください

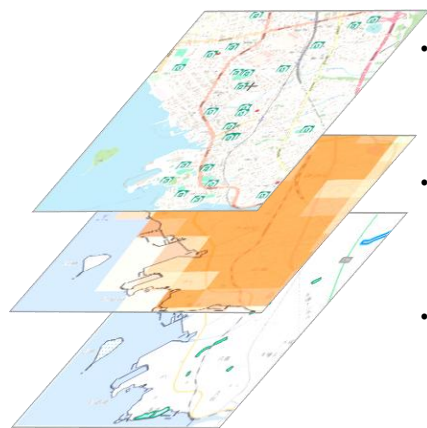
11. REPOSを活用した再エネ導入方針の検討例 ② 施策策定

大村市の
計画策定の状況



区域施策編の改定に向けて、公共施設の活用も含めて、具体的な再エネ導入エリアを検討したい

再エネ導入候補エリアの検討 および独自のGISデータ（おおむらマップ）の活用

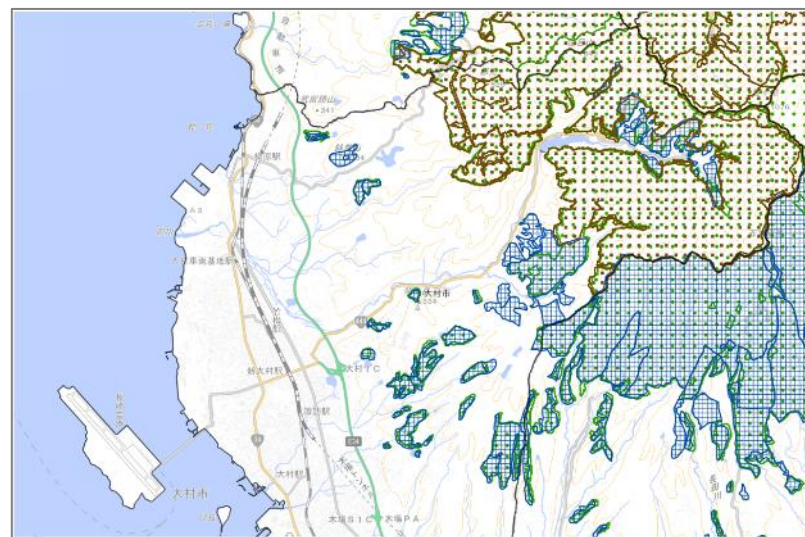


- ... 避難所など（おおむらマップ）
- ... 再エネポテンシャル（REPOS）
- ... 除外・考慮すべきエリア（REPOS）



市役所の新庁舎建設予定地を含めた市の公共施設や避難所の位置と、再エネポテンシャルの分布を組合わせて確認
公共施設を用いた再エネ導入や、防災・レジリエンスへの活用を検討

再エネ導入における要配慮エリアの検討



山間部は保安林が多く存在するため、再エネ導入を促進するエリアからの除外すべきと判断

大村市の検討内容*：

「新庁舎・運動公園や避難所は再エネ導入の候補地としやすいため、除外エリアに分類されていないと確認できる点は有用」

「除外すべきエリアに関する情報を保持しておくことで、事業者との協議もしやすくなるのではないか」

*：本ページは、「令和7年度 再エネ導入ポテンシャル情報を活用した地域脱炭素推進のための情報提供方策検討委託業務」において、長崎県大村市の検討におけるREPOSの活用について、大村市と議論した結果を整理しています。実際の自治体の計画・施策とは異なる場合がある点にご留意ください

補足情報

12. サイトマップ

ツール名	機能
トップページ	
REPOSとは	当サイトの目的と概要を説明しています。
メインメニュー	
再エネ導入ポテンシャルメニュー	再エネ種別ごとに、再エネ導入ポテンシャルを提示しています。「地図」では、地図上でポテンシャルの高い区域を、「推計値」では、各地域のポテンシャル総量等の情報を確認できます。
地域脱炭素化支援ツール（再エネ導入目標設定）	地域の電力需要量、再エネ導入によるCO2削減量等を把握しながら、再エネ導入目標を検討することができます。
地域脱炭素化支援ツール（再エネ促進区域検討）	再エネポテンシャルと除外条件を参照し、再エネ導入の促進区域を検討できます。
地域固有情報の投稿	ログイン機能 自治体や事業者が所有するGIS情報をREPOSにアップロードすることで、地域固有の情報（固有の自然保護区等）と再エネポテンシャルの区域を重ね合わせて、促進区域を検討できます。
分析ツール	
中小水力分析データ	FIP制度下での中小水力発電収入分析データ、中小水力分析ツールを搭載しています。
中小水力分析ツール	
時空間ポテンシャルデータについて	ポテンシャルの年間を通じた変動（30分間隔）を地図上で動画で確認することができます。
航空画像・衛星画像を基にしたAI分析による太陽光の導入状況	既設PVの導入量、PV未設置建物における導入可能性量情報を搭載します。
データ	
搭載データ（地図）	ゾーニングに関連する一般的な地図情報（自然、景観、文化財などの地図情報）やポテンシャル情報を重ね合わせて利用することができます。
搭載データ	REPOS搭載のGIS情報等を確認・ダウンロードすることができます。
風況マップ（全国）	風力発電の導入に向けた検討の参考資料としていただくため風況マップ情報を提供しています。
過年度報告書	推計方法の詳細等を調べたい場合に利用できます。

12. サイトマップ

ツール名	機能
ヘルプ	
REPOS活用ガイド	本サイトの概要を説明し、業務に即した活用方法を解説しています。（本資料）
利用解説書	本サイトの概要および操作について、より詳細に説明をしています。
用語の解説	本サイトで使用している用語をまとめています。
よくあるご質問	再エネポテンシャル情報の精度の限界に関する説明、取扱い上の注意点や、リンク・バナー利用規則、Q&Aなどを記載しています。
関連サイト	関連するサイトの一覧を記載しています。
ユーザー専用	
ユーザー登録	ユーザー登録し、ログインすることで、導入目標・促進区域の検討を保存できます。また、アップロードした地域固有情報（GIS情報）の管理ができます。
ログイン	
お知らせ	お知らせ情報が確認できます。過去の修正・更新履歴など重要な情報なども掲載されます。
ご意見・お問い合わせ・アンケート	ご意見・お問い合わせを行う際の連絡先を記載しています。
サイトマップ	
プライバシーポリシー	

